

「家庭教育支援チーム」の推進に係る 文部科学大臣表彰

平成29年度表彰活動一覧



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN



家庭教育支援チーム

目次

都道府県名	市町村名	活動名称	「家庭教育支援チーム」の名称	ページ
北海道	白老郡 白老町	白老町家庭教育支援チーム	ぴんぽーん	1
青森県	西津軽郡 鱒ヶ沢町	鱒ヶ沢町子育てサポートセンター	鱒ヶ沢町家庭教育支援チーム	3
岩手県	宮古市	家庭教育支援活動	MIYAKO.Revolution21	5
宮城県	石巻市	石巻市家庭教育支援事業	スマイルエンジェル	7
秋田県	男鹿市	男鹿市家庭教育支援活動	男鹿市家庭教育支援チーム	9
山形県	酒田市	地域子育て支援事業	NPO法人 にこっと	11
茨城県	高萩市	高萩市訪問型家庭教育支援事業	高萩市訪問型家庭教育支援チーム	13
栃木県	下都賀郡 壬生町	壬生町家庭教育支援事業「子育て・親育ち講座」	壬生町家庭教育支援チーム	15
群馬県	北群馬郡 榛東村	子育て家族応援イベント「しんとうママフェス」	榛東村家庭教育支援チーム	17
埼玉県	行田市	地域ぐるみの子育て支援活動	特定非営利活動法人子育てネット行田	19
東京都	三鷹市	三鷹市家庭教育支援事業	三鷹市家庭教育支援チームかきしぶ	21
神奈川県	三浦市	はっぴー子育て応援団	はっぴー子育て応援団	23
新潟県	南魚沼市	南魚沼市家庭教育支援チーム	南魚沼市家庭教育支援チーム「だんぼの部屋」	25
岐阜県	中津川市	家庭教育支援活動	すくすくわくわくまあるいこころ	27
静岡県	焼津市	家庭教育支援活動	焼津市家庭教育ネットワーク	29
愛知県	一宮市	家庭教育支援活動	一宮市家庭教育支援チーム 子育てネットワーク一宮	31
滋賀県	長浜市	絵本シリーズ	家庭教育支援チーム「えがお」	33
大阪府	交野市	家庭教育学級	ポラリス(交野市子ども家庭サポーターの会)	35
和歌山県	有田郡 湯浅町	家庭教育支援活動	家庭教育支援チーム「とらいあんぐる」	37
広島県	尾道市	家庭教育支援活動	向東地区家庭教育支援チーム“親だから”	39
山口県	山口市	「湯田中学校ひろば」	山口ゆだ・かべり	41
徳島県	板野郡 上板町	上板町子ども若者相談支援センター『あい』	上板町子ども若者相談支援センター『あい』	43
愛媛県	大洲市	「保護者目線で身近な支援」	大洲子育てサポート“そよ風”	45
佐賀県	武雄市	総合的な家庭教育支援活動	武雄市子育て総合支援センター	47
鹿児島県	いちき 串木野市	いちき串木野市家庭教育支援チーム	「ほっとルーム」	49

白老町家庭教育支援チーム「ぴんぽーん」



「ぴんぽーん」とは？

北海道の白老（しらおい）町にある家庭教育支援チーム「ぴんぽーん」は、平成 21 年の結成以来、子育て中の保護者の悩みやストレスをできるだけ軽減できるよう、さまざまな支援活動を行ってきました。

特に、「訪問型の相談活動」は、元教員や子育て経験者である支援員が事前に行った聞き取りやアンケート調査をもとに、相談を希望する方に寄り添うスタイルで実施し、保護者の子育ての悩みやストレスを軽減させる上で大きな効果を出しています。



チームメンバー

○チームリーダー 中谷 通恵（コーディネーター）

○チームの特徴

保育園、認定こども園、小学校、地域子育て拠点、ファミリーサポートセンター等の各関係機関と連携をしながら、訪問相談や講師派遣等の各種活動を行っています。

取組1 「訪問型の相談活動」

○不安や悩みを抱え、子育てに役立つ情報を知りたい保護者に対し、支援員が直接家庭を訪問して相談や支援を行っています。一人でも多くの方が利用しやすいように、コーディネーターが専用の携帯電話を持ち、電話やメールを活用しながら訪問希望者を募っています。

○相談を受けるに当たっては、利用者が相談場所を選定する、支援員を指名することができるなど、利用者に寄り添うことができるよう工夫しています。傾聴を心掛け、保護者がエンパワーメントできる時間になるようにしています。

○希望者を募る方法としては、以下の2つの取組に特徴があります。

- ・乳幼児健診時に全保護者を対象とした「訪問希望の有無」などについての聞き取り調査を行っています。
- ・2年に一度、保育園、認定こども園、小学校からの協力を得て、全保護者を対象とした「訪問希望の有無」などについてのアンケート調査を実施しています。



訪問型の相談活動～どんな効果が出ているの？～

- ・毎年の訪問件数は、約 50～60 件。
- ・子どもが乳幼児の頃に利用した保護者が、子どもの成長に伴い、再度相談を希望するなど、継続的な支援に結びつけることができます。
- ・家庭教育の重要性を繰り返し伝えることで、保護者の意識が高まり、研修会に父親や祖父母を誘って参加する母親が増えてきました。
- ・町外への転出後も、相談活動を希望する保護者がいます。



取組2 「講師の派遣」「子育て講座の実施」

- 小学校の「就学予定者知能検査」や中学校の「一日体験入学説明会」を活用して、家庭教育講話を町内の小・中学校で実施しています。
- 研修会、PTA活動、授業の外部講師として、講師派遣を行っています。
- 年に2回、支援チームが主催する「子育て講座」は、保護者にとって貴重な学びの場になっています。



取組3 「支援チーム会議の開催」

- 各種情報を関係者で共有するため、支援チーム会議を月1回開催し、チーム員の活動報告及び情報共有を行い、より良い子育て支援へとつなげています。
- 家庭教育支援チーム支援員や家庭教育支援者の資質向上を目的とした研修会を実施しています。



取組4 「家庭教育支援だよりの発行」

- 年間5回程度、家庭教育支援だより「ぴんぼーん」を発行しています。
- 保護者から寄せられた質問に対して支援員が回答する「子育てに関するワンポイントアドバイス」等のコーナーを設けて、保護者が抱える子育ての悩みや不安を解消する情報提供となるよう心掛けています。



「今後の展望」や「メンバーの願い」

今後も子育てに悩みを抱える保護者が気軽に利用できるよう、保護者の気持ちに寄り添いながら、訪問相談及び情報提供を行い、学習機会については、より多くの方に参加してもらえるような内容及び周知方法等を検討していきたいと考えています。

子育てについての悩みや不安はあるけれど時間がない方など、必要な支援や情報を届けることができない保護者へのアプローチの仕方を考え、身近な存在として地域の子育てを支えていきたいと思えます。

【連絡先】白老町健康福祉課子育て支援室（北海道白老郡白老町東町4丁目6番7号）

子育て情報や相談員をあなたの家まで届けます！

鱒ヶ沢町家庭教育支援チーム



☆主体事業☆

親子活動（親子での体験）

- ・バスツアー
- ・木育広場



子育て中の方への事業

（子育ての不安をなくす為の取組）

- ・子育て相談
- ・サポセンサロン
（子育て支援に関する学習会など）
- ・あおもり親楽プログラムを
（青森県教育委員会編集・発行）
活用したワークショップ
- ・ベビーマッサージ
- ・参観日カフェ（小中学校の参観日に
支援チームが出張）
- ・鱒サポお茶会（お母さんたちのコミュ
ニケーションの場を提供）



地域の方への事業

（子育てしやすい環境作り）

- ・孫育て講座
- ・郷土料理教室



情報発信

- ・「ほっとタイム」発行
（子育て情報紙、年6回）

☆協力・連携事業☆

次世代育成

- ・赤ちゃんふれあい教室（中学生）
鱒ヶ沢中学校と連携
- ・生と性を考える教室（高校生）
鱒ヶ沢高等学校と連携
- ・離乳食教室（乳児を持つ母親）
町母子支援センターと連携

☆支援事業☆

- ・子育てグループ
「ランドセル」
親子和菓子作り
- ・「セルクル」／お母さん達のサークル
手づくりおもちゃを作ろう
- ・公民館活性化事業
紙ずもう大会



現在、訪問型支援への事業拡大も必要と考え、方法を模索しているところです。

子育てしやすい町、鱒ヶ沢を目指して、少子高齢化の解消につなげたいと思っています。

あじがぞわまち
子育てサポート
センター



鱒ヶ沢町教育委員会

ピョンカフェスティバルの紹介

そして、年に一度、お家の外で遊ぶ機会の減ってしまう冬の時期には、「ピョンカフェスティバル」という大きなイベントを開催し、毎年たくさんの人に来ていただいております。



- 2015年に行った最初のピョンカフェスティバルでは、絵本読みかせ団体「ぞうさんのミミ」と、絵本ライブを行う「くらうん・しゅがー」さんにゲストとして参加していただきました。学生ボランティアの方々にもお手伝いいただき、200人以上の来場者を記録しました。



- 2016年に行った第2回のピョンカフェスティバルでは、2015年に続き「くらうん・しゅがー」さんに参加していただきました。この年から好評であったダンボール工作を大々的に行い、今でも続く人気コーナーの1つとなりました。



- 2017年の第3回のピョンカフェスティバルでも「くらうん・しゅがー」さんに3年連続のゲスト出演をしていただきました。あいにくの大雪に見舞われましたが、それでも100名以上のお客さんがいらっしやって下さいました。



- 第4回目となる今年のピョンカフェスティバルでは、初めて男性保育士連「チーム・ファンタジスタ」さんをお呼びして、親子ふれあいあそびをしていただきました。インフルエンザの流行もありましたが、多くの方々に来場していただきました。

最後に

MIYAKO.Revolution21では、これからも地域に根差した活動を無理なく継続的にいき、子育て支援を通じて宮古市の復興に取り組んでいきます。私たちの活動を、どうぞよろしくお願いいたします。

石巻市家庭教育支援チーム 「スマイルエンジェル」



1 設立の経緯

石巻は東日本大震災で大きな被害を受け、子育て環境にも大きな影響がありました。親子の居場所作りや心のケア、コミュニティの再構築が急務となったことを背景に、子育てサポーターやサポーター・リーダーが中心となって平成23年9月から家庭教育支援活動を始め、行政や子育て支援団体等からの協力により活動の幅が広がり、継続的に支援を続けています。

2 チームメンバー

宮城県教育委員会主催の養成講座を修了した子育てサポーターや子育てサポーター・リーダーを中心に、一般ボランティアの協力を得て、年間を通して幅広く活動しています。様々な年齢層のメンバーが互いに支え合いながら意欲的に活動しています。

3 活動内容

(1) いしっこクラブ(子育てサロン)

親子の交流及び心のケア、育児相談の場として月2回(第1・第3金曜日)、年間20回程度、公民館を会場として開催し、手遊びや読み聞かせ、ダンス、リトミック、おもちゃ作りなどを行っています。参加者の要望に応じて水遊び等も実施します。年間親子合わせて約700人(親子約300組)が参加しています。スタッフを身近な存在として感じ、気軽に育児相談できるような雰囲気づくりを大切にしています。



(2) 親学び講座① ノーバディズ・パーフェクト講座(NPO団体と共催)

子育てのスキルアップ及び受講者のエンパワーメントの向上、新しいコミュニティの形成を目的として年間3~4シリーズ(1シリーズ8週連続)開催しています。

受講者の自主性を尊重したワークショップ形式の講座で託児付きです。託児は家庭教育支援チームが担当します。

講座・託児ともに好評で、受講修了後に家庭教育支援チーム員や子育て支援団体等で活躍する保護者も増えてきています。



(3) 親学び講座② 「親のみちしるべ」講座

未就学児から小学生までの保護者を対象として、宮城県教育委員会が作成した「親のみちしるべ」プログラムを使用した子育てワークショップを年3回程度開催しています。ファシリテーターと託児スタッフを支援チーム員が担当します。「しつけ」「上の子の赤ちゃんがえり」「子どもの気持ちに寄り添う」など多様なテーマで毎回活発に意見交換が行われています。



(4) 家庭教育学級への講師派遣

幼稚園や小学校から派遣依頼を受け、「一日入学」において新入生の保護者を対象に「小学校入学に向けての悩みや不安」をテーマとしてワークショップを開催しています。ファシリテーターは子育てサポーター・リーダーが務めます。入学前に保護者同士が顔なじみになります。



(5) 家庭教育支援チーム研修会

次の内容で研修会を年3回実施しています。

- ・「いっこクラブ」の計画・準備等
- ・手遊び・ダンス等のスキル研修
- ・「託児マニュアル」の内容検討

チーム員同士の交流を深め、お互いに理解し合う貴重な時間でもあります。



(6) 託児支援活動

「子育てをしていると子育てに関する講座や研修会等に参加できない」という保護者の声に応え、子どもから離れて集中して講座や研修会に参加してもらうことをねらいとして、託児支援活動を実施しています。大切なお子さんをお預かりするので、独自に「託児マニュアル」を作成し「託児連絡ノート」で情報を共有しながら活動しています。



成果 市の子育て支援活動の活性化や人材育成に一定の成果
課題 チーム員による自主的な活動の促進及び支援体制の強化

(連絡先：石巻市教育委員会生涯学習課 0225-95-1111 内線 5053)

☆男鹿市家庭教育支援チーム☆

男鹿市家庭教育支援チームを紹介します

忙しい毎日の中で、子どもとのコミュニケーションやしつけに困ったり戸惑ったり…。子育て中は、いろいろな悩みがつきものです。男鹿市家庭教育支援チームは、そんなご家庭の皆さんの頑張りを共に支え、地域とのつながりや専門機関との橋渡しのお手伝いをしています。

チーム員はこんな人たち

子育て経験者をはじめ、子育てサポーター、読み聞かせサポーター、元保育士、主任児童委員など、様々な立場の方で構成されています。チーム員は、ともに地域で暮らす身近な方々です。



男鹿市家庭教育支援チームは、平成20年に発足し、今年で10年目を迎えました。現在は、12名で活動しています。チーム員1人1人が無理せず、楽しく活動することを大切にしています。家庭教育支援は、成果が見えづらく、地道なものですが、今後も何をできるかを探し、実践しながら家庭教育を支えていきます。

☆ お茶っこサロン…お茶を飲み、談話しながら家庭教育や子育てについて気軽に話し合う場

活 企業訪問…働く保護者の家庭教育への参加促進・仕事と子育てを両立する環境整備

動 イクメン講座…父親等の家庭教育への参加促進・父親同士の子育て仲間づくり支援

の 家庭教育講座の開催…家庭教育に関する学習機会の提供・子育て仲間づくり支援

紹 他機関との連携…子育て支援団体等や学校との連携による共通理解

介 情報の提供…リーフレットやお茶っこ通信発行、ミニ移動図書館

☆ チーム員の資質の向上…各研修会への参加・事業の打合せと報告書の作成

活動の様子を紹介します↓↓↓

☆—————お茶っこサロン—————☆

「お茶っこサロン」は、お茶を飲みながら、家庭教育や子育てについて気軽に語り合える場です。保育園、幼稚園、小・中学校や各関係機関でのイベントや保護者学習会などで開催しています。参加者は、一息つきながらざっくばらんに日頃の悩みや気になることを話します。

また、お茶っこサロンは、双方向の情報提供の場です。子育て現場の生の声を聴くことで、今、保護者が必要としている情報を把握し、今後の活動に取り入れています。



☆—————子育て元気アップ講座—————☆

「子育て元気アップ講座」では、各分野の講師を招き、家庭教育や子育てに関する学習機会や情報の提供を行っています。

お茶っこサロンであがった話題など、実際に講座に参加する参加者が、日々抱えている悩みに即した講座を設定しています。

日頃の生の声を取り入れた学習内容であるため、参加者同士の積極的な話し合いや、講師とのやりとりがあります。



参加者の声

- ・今日は、心に栄養をもらってうれしい気持ちで帰れそうです。
- ・イライラすることは誰でもある、みんな一緒と思うと、育児の肩の荷がおろせる気がします。
- ・子どもの発達を理解して、その子に合ったやり取りが大切なんだと気づかされました。

男鹿市家庭教育支援チーム事務局
秋田県男鹿市教育委員会生涯学習課
電話：0185-24-9102
mail：syougaiyakusyuu@city.oga.akita.jp

妊娠期から子育て期までを切れ目なく応援する子育てひろば

NPO法人

にこっと



マスコットキャラクター
にこっと君

所在地：山形県酒田市二番町7-8

NPO法人にこっととは (平成16年特定非営利活動法人格取得)

NPO法人にこっとは「拠点型ひろば事業」と「一時保育事業」を中心に酒田市二番町で活動し子育て家庭の「子育てと仕事の両立」を支援しています。

【自主事業】

- ・出張保育事業
- ・産前産後出張サポートケア事業
- ・シングルママ応援プロジェクト「にこL aの会」
- ・にこママショップ事業
- ・ワーキングママ支援保育
- ・情報発信（おたより・HP・ブログ・LINE）

【酒田市委託事業】

- ・つどいの広場事業
- ・出張ひろば事業
- ・一時預かり事業
- ・赤ちゃん登校日
- ・各種講座の企画・開催
- ・相談の対応



～主な活動紹介～



☆☆☆ 毎月開催講座 ☆☆☆

プレ&初ママのわいわいお茶会

妊婦さん&初めてのお子さんを育てているママを対象にお茶会を開催しています。ゆったりとした空間でリラックスしながら、子育てについての悩み相談や情報交換を行い、少しでもママ達に安心して子育てしてもらいたいという思いで開催しています。



作ってあそぼっ！

親子で楽しみながら、廃材などの身近で手軽な材料を使った簡単おもちゃを作ります。みんなでおしゃべりしながら楽しく作ったり遊んだりして、親子のスキンシップを図り、親同士がつながる場にもなっています。



勘太郎文庫さん 絵本読み聞かせ&お誕生会

毎月第4木曜日に、市内にある勘太郎文庫さんに出向いていただき、絵本の読み聞かせとお誕生会を開催しています。様々な楽しい絵本を紹介していただき、ご家庭での絵本の読み聞かせも推奨しています。



☆☆☆ にこママショップ ☆☆☆

子育て中のママ達の手作り作品を販売する、ママ達のチャレンジショップです。販売している作品は、100円の小物や500円～800円のスタイや移動ポケットなどいろいろなグッズがあります。子育て中で仕事ができないママ達が、少しでも収入が得られるように支援しています。



☆☆☆ 親子食育講座 ☆☆☆

サンドイッチや手打ちうどんなど、親子で楽しみながら作って、食べて、みんなでワイワイ交流しています。子ども達の「食」に対する関心を高めるとともに、親同士で子どもの食べ物に対する好き嫌いやその解決策などの情報交換の場にもなっています。



☆☆☆ 赤ちゃん登校日 ☆☆☆

酒田市内の小中学校に、1歳以下の乳児と母親が訪問し、児童生徒が乳児に実際に触れ、その母親たちと交流することで「命の尊さ」「子供に対する親の思い」「子育てのおもしろさ、大変さ」などを学ぶ機会となっています。29年度は市内小学校8校、中学校4校にて計31回実施。



Expedition!
わくわく探検隊

～様々な親子講座・イベント～

Harvesting experience!
野菜収穫体験



近くの大学生もひろばに遊びに来て、子ども達と楽しく交流してくれています。



LINE@ にこっと情報をLINEでお届け!
お友達募集中★

にこっとだより 9月の予定

1	土	お誕生会
2	日	お誕生会
3	月	お誕生会
4	火	お誕生会
5	水	お誕生会
6	木	お誕生会
7	金	お誕生会
8	土	お誕生会
9	日	お誕生会
10	月	お誕生会
11	火	お誕生会
12	水	お誕生会
13	木	お誕生会
14	金	お誕生会
15	土	お誕生会
16	日	お誕生会
17	月	お誕生会
18	火	お誕生会
19	水	お誕生会
20	木	お誕生会
21	金	お誕生会
22	土	お誕生会
23	日	お誕生会
24	月	お誕生会
25	火	お誕生会
26	水	お誕生会
27	木	お誕生会
28	金	お誕生会
29	土	お誕生会
30	日	お誕生会

お知らせ

5分間の短い時間で、皆さんと一緒に楽しく過ごせます。

シングルママ応援プロジェクト



にこLaの会

【にこLaの会】
「にこLaの会」は、子育て中ママ達で育てるコアラのような親子と、子育て中ママ達を応援する「NPO法人にこLa」を組み合わせるシングルママの交流会の名称です。同じ立場のママたちと、日ごろの悩みや制度の疑問点などお話し楽しく交流しましょう!

～情報発信～

〇にこっとだより (月1回) 〇タウン誌掲載 (月1回)
〇OHP、活動ブログ、Facebook、LINE等



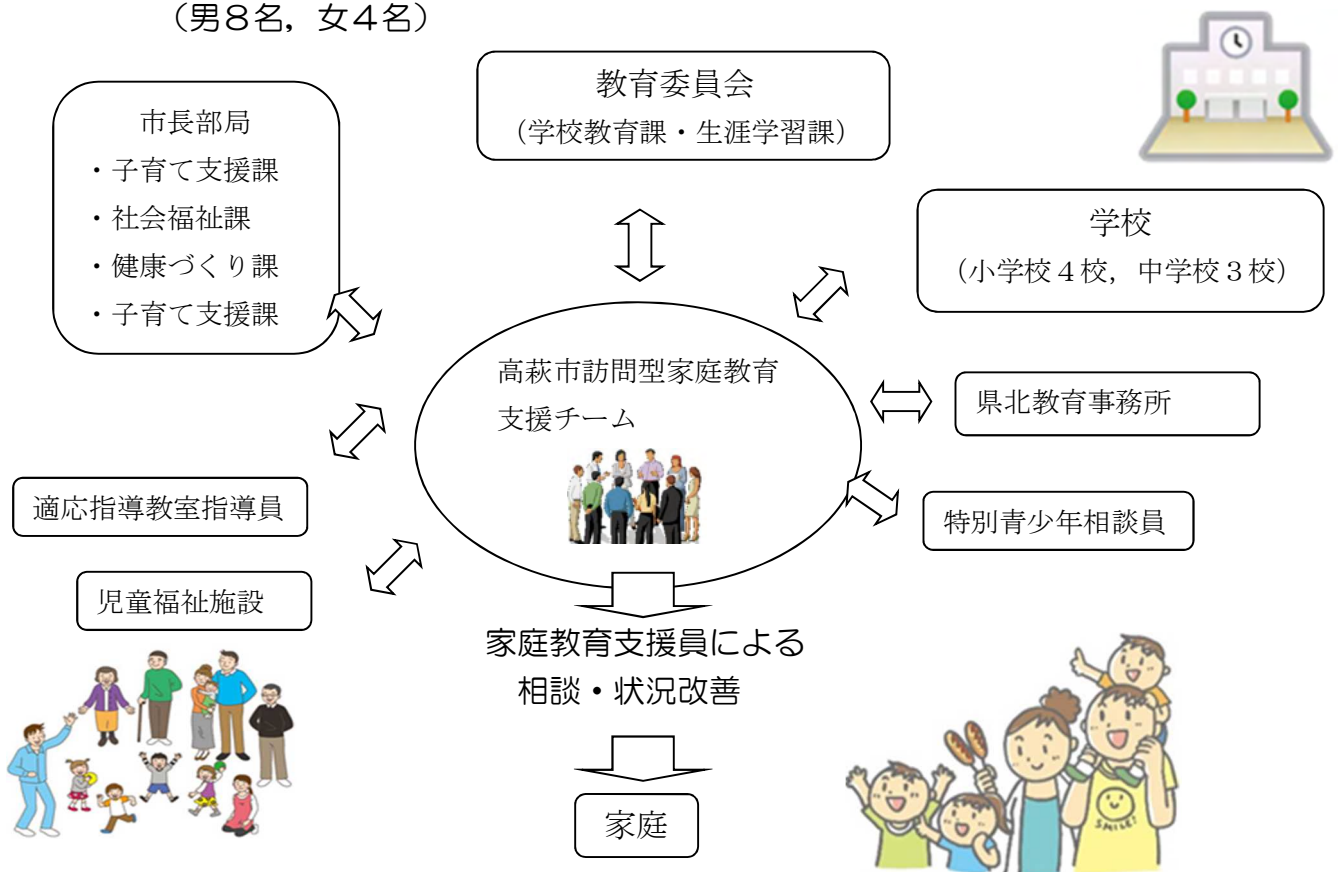
高萩市訪問型家庭教育支援チームは、保護者が子育ての悩みや不安を抱えて孤立しないよう、また、安心して子育てができるように、地域の方々とともに家庭教育の充実に向けた活動に取り組んでいます。

1 本市の家庭教育支援

地域の方々とともに行う様々な活動を通して、家庭と学校・地域の架け橋となり、保護者の子育てを応援します。

2 訪問型家庭教育支援チームについて

- 人数：12名
- 構成員：元校長7名，元教員3名，児童養護施設職員1名，適応指導教室指導員1名（男8名，女4名）



3 活動内容と成果



小学校1年生全家庭訪問（小学校4校 児童数1,272人）

- ・高萩市家庭教育支援員証を携帯した家庭教育支援員が、各家庭を訪問し、事業の周知及び悩み相談を行うとともに、課題の早期発見未然防止に努めます。



拠点校支援員の派遣

- ・拠点校となる中学校2校を中心に活動している家庭教育支援員を拠点校支援員として週1回程度派遣しています。
- ・担任・学年主任・生徒指導主事などと情報交換を行い、不登校の未然防止や課題の早期発見に努めています。



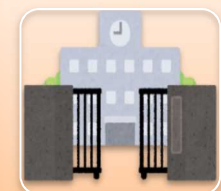
訪問型家庭教育支援会議

- ・家庭教育支援員のほか、県教育庁就学前教育・家庭教育推進室、県北教育事務所、市子育て支援課、社会福祉課・健康づくり課、事務局担当者が参加し、月1回、支援対象家庭の状況や今後の支援の方針などについての協議や情報交換を行っています。



とまり木の会（保護者同士の交流の会）

- ・不登校や子育てに悩む保護者のための会を2ヶ月に1度開催。スクールカウンセラー、社会教育主事、適応教室指導員、家庭教育支援員が参加し、保護者の話を聴きます。希望者には個別にカウンセリングを行っています。



訪問実績及び成果

- | | | | | |
|------------|-----|------|-----|-------------|
| ・支援家庭数 | H28 | 11家庭 | H29 | 8家庭 |
| ・訪問回数 | H28 | 124回 | H29 | 171回 |
| | | | | (平成30年1月現在) |
| ・改善が見られた家庭 | H28 | 8家庭 | H29 | 7家庭 |

4 課題と次年度に向けて

中学校卒業後の支援

中学校を卒業した生徒たちをどのような体制で支援していくか検討していきます。

全中学校に拠点校支援員を派遣

来年度は拠点校支援員を市内の3中学校全てに派遣する予定です。

未然防止・早期発見

小学校1年生全家庭訪問を継続し、引き続き事業の周知と問題の未然防止、早期発見に努めます。また、「とまり木の会」との連携・充実を図ります。

<お問い合わせ>

茨城県高萩市教育委員会学校教育課（担当:佐藤）

TEL : 0293-23-1135

FAX : 0293-23-1126

Mail : gakkou@city.takahagi.lg.jp





壬生町家庭教育支援チーム

結び合う教育力～幼・保・小・中・各団体との協働による家庭教育支援～

家庭環境の多様化や地域社会の変化等により、子育てやしつけについて悩みを抱えたり、孤独を感じたりする保護者の増加が指摘されています。こうした状況を踏まえ、壬生町では、小・中学校や保育園・幼稚園、各地域団体等との協働により、家庭の教育力向上及び保護者どうしのゆるやかなつながりづくりを目的とした「子育て・親育ち講座」を開催しています。講座の企画・運営は、栃木県家庭教育オピニオンリーダー等で構成する「壬生町家庭教育支援チーム」が担当し、オープンスクールなどあらゆる機会を利用して実施しています。

この「子育て・親育ち講座」は、保護者が子へのかかわり（＝家庭教育）をふりかえるための支援であり、それは「保護者が元気になるための支援」でもあります。学校の教育力と家庭の教育力がしっかりと結びあい、明日を担う壬生町の子どもたちが元気に健やかに育っていきますよう、壬生町では家庭教育への支援を推進しています。



就学時健康診断時を活用した講座

(保護者どうし情報・意見交換するワールド・カフェ形式での講座)



こども未来課との協働による講座

(壬生町児童館2～3歳児親子を対象とした講座)

【平成28年度開催講座】

・就学時健康診断時を活用した講座	全	7講座	参加者341名
・小学3年生の子をもつ親を対象とした講座	全	8講座	参加者344名
・思春期の子をもつ親を対象とした講座	全	9講座	参加者708名
・保育園、幼稚園における講座	全	3講座	参加者123名
・こども未来課との協働による講座	全	1講座	参加者271名
・各地域団体との協働による講座	全	2講座	参加者55名
・その他の講座	全	1講座	参加者4名

【家庭教育支援チームの役割について】

主に子育て中の家庭に対し、本チームの取組や家庭教育の情報提供を行うとともに、学校等で行われる子育て・親育ち講座等の企画立案の調整を図っていく。

また、講座毎にアンケートを実施し、家庭教育に関する保護者のニーズを的確に把握することで、子育てに不安や悩みを持つ親、学習機会に参加できない親、子育てに無関心な親に対して効果的な学習機会や教育情報を提供する。

【具体的な活動】

- ・ 講師とのアポイント
保護者のニーズにあった多様な講師選択をする。
- ・ 学校・幼稚園・保育園・こども未来課等とのアポイント
時期、日程調整、当日の運営など
- ・ 当日の運営
司会、会場調整、託児ボランティアとの打ち合わせ、おしぼり、飲み物、託児のおもちゃ等
- ・ 当日の講師接待
- ・ 子育て・親育ち講座の企画・運営
昨年度の反省に基づいた企画・運営
- ・ アンケートの作成とその集計
各講座ごとにアンケートを実施し、集計する。
- ・ 啓発用チラシの作成
各講座ごとにチラシを作成する。
- ・ 家庭教育支援チーム員打ち合わせ会議の開催
毎月1回程度の打ち合わせ会議の開催



愛称:ミーナ
©柘あおい



家庭教育支援チーム員による司会進行の様子



参加者へのインタビューの様子

【チーム連絡先】壬生町教育委員会 〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町通町 12-22
(TEL) 0282-81-1873 (E-mail) gakusyu@town.mibu.tochigi.jp

榛東村家庭教育支援チーム

ママボランティア ほっこりん

こんにちは！ほっこりんです。私たちは平成26年に、赤ちゃんや小さな子ども連れのお母さんたちが楽しめるイベント「ママフェス」を開催しようと集まったメンバーです。はじめてのイベントは大盛況のうちに終了しましたが、この活動を通じて、私たちの地域の子育て環境をよりよくするための課題も見えてきました。私たちほっこりんは自分たちができることで、得意なことを活かしながら、楽しく活動を行っています。



ほっこりんのキャラクター
ほっこちゃん



●榛東村家庭教育支援チーム「ほっこりん」

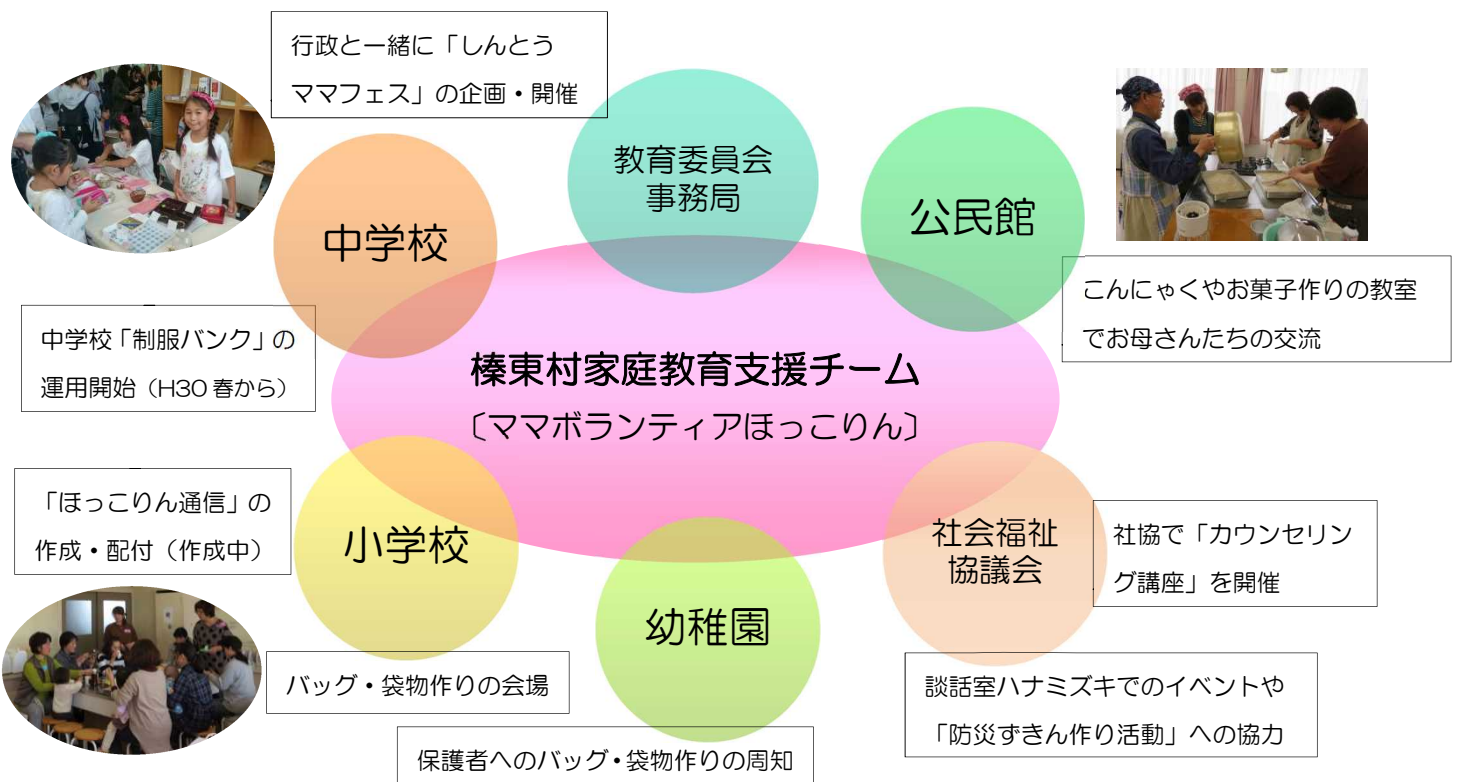
村内在住、小学生から高校生の子を持つ母でもある4人。「しんとうママフェス実行委員」として活動開始後、家庭教育支援チームに登録。地域での活動は初めてだったけれど、お母さん目線を活かして、できることから、楽しみながら活動を続けています。

●ほっこりん会員 現在LINEグループに57名が登録

●ママフェスサポーター「しんとうママフェス」イベント会場での協カスタッフ14名

ほっこりんの活動 ～地域ぐるみで子育てを応援したい！～

小さな村だからできること…色々な機関とかかわり、協力を得ながら



主な活動① 子育て家族応援イベント「しんとうママフェス」の企画・実施

子どもたちと子育て中の家族がみんなで楽しめるイベントを目指して企画。毎年9月に榛東村役場を会場として開催。4人の実行委員を中心に14名のサポータースタッフ、手作り品のマーケット「マママルシェ」への出店や「こどもみせキッズほっこりん」にもお母さんたちが協力しており、たくさんの地域のお母さんたちが主催者側として関わっていることが特色。また、大学生や榛東中学校美術部、国際交流部の生徒がボランティアスタッフとして参加し、世代を超えた交流の場にもなっています。

平成29年に開催した第4回しんとうママフェスでは1日で1,100名の親子が来場しました。



主な活動② 幼稚園・小学校で使うバッグ作り ～お母さんたちの仲間作りと学校との関わり～

お母さんたちが子どもの進学を前に準備しなければならない、うわばき袋やコップ袋、図書バッグなどの指定用品の製作をみんなで一緒にしてしまおう、という企画で、お母さんたちの仲間作りのために始めました。子ども連れでも、ミシンをかけているあいだスタッフが遊ばせてくれ、お茶とお菓子の時間もあります。小学校の被服科を会場にお借りしているので、参加者のお母さんたちはこれからわが子が通う小学校内の様子も垣間見ることができます。



主な活動③ 「制服バンク」の企画・実施 ～「ありがとう」でつながる地域の輪～

今年度企画した取り組みで、平成29年3月から回収を開始します。「3年間着てもあまり傷んでいない中学校の制服を処分してしまうのがもったいない」、「制服のお下がりをくれるかたはいませんか」お母さんたちの声を形にしようとほっこりんが教育委員会事務局、中学校に提案したところ、協力して頂けることになりました。中学校の校舎内に制服の置き場所を用意して頂き、制服の回収や管理はほっこりんが中心に行います。



主な活動④ 「ほっこりん通信」の配付 ～地域でつながるほっこりんの活動へ～

平成29年度の立案で第1号を制作中。活動の報告や告知の媒体として通信を作成し、村内の家庭に配付します。ほっこりんの活動を広く知ってもらい、地域ぐるみの子育てにつながればと考えています。

これからの「ほっこりん」は…

チーム結成のきっかけとなったイベントでもある「しんとうママフェス」は今後も続けて開催し、地域ぐるみの子育てにつなげていきます。また、バッグ作りや村の社会福祉協議会の協力で行っているカウンセリング講座などを継続することで、お母さん同士の交流につながる取り組みを実施します。

ひとりでも多くの地域のお母さんたちとつながりを持ち、孤独な子育てのない村になるよう、これからもがんばります。



連絡先：榛東村教育委員会事務局 生涯学習係
電話 0279(54)2211
メール s-kyoiku@vill.shinto.gunma.jp

行田市家庭教育支援チーム

NPO法人子育てネット行田



平成12年から、子育て中の親や子育てに関わる家族に対してさまざまな支援活動を展開しています。

また、地域ぐるみの子育てに向けて協働する地域づくりや、子育てに携わる全ての人々の資質向上を目指した豊かな社会教育の推進に貢献することを目的に、日々の活動に励んでいます。

子育てネット行田データ

- ・代表理事 島田 ユミ子
- ・会員数 51名
- ・過去の実績
平成24年度子ども若者育成・子育て支援功労者表彰 内閣府特命担当大臣表彰 (子育て・家族支援部門)



NPO法人子育てネット行田のメンバーの皆さん。
最前列中央が代表理事の島田ユミ子さん。

こんな活動を行っています

子どもの健全
育成を図る活動

社会教育の推進
を図る活動

男女共同参画
社会の形成の
促進を図る活動

保健、医療
または福祉の
増進を図る活動

左記の活動を行う
団体の運営または
活動に関する連絡、
助言または援助

私たちの活動の様子を紹介します



子育てサロン

市内の社会教育施設などで、年間9回のイベントを実施。クリスマス会など季節に応じたイベントを開催したり、昔の遊びや読み聞かせ、絵画や工作などを行ったりしています。この他、10月にはミニ運動会も行われ、子供たちは大満足の様子。親子がお互いに交流を深めることができるとあって、毎年多くの方が参加しています。

子育てサポーター養成講座

教育委員会と社会福祉協議会と共に、5月から7月にかけて7回にわたる講座を開催。平成29年度で17回目を迎えました。「地域ぐるみの子育て活動に、自らの子育て体験を生かしたい」という思いを持った方が参加し、学識経験者から子育て支援に関するさまざまな知識や技術を学んでいます。



子育て支援センター「きっずプラザあおい」、「つどいの広場」の運営、「ブックスタート」への協力

「きっずプラザあおい」と市内4カ所で開設している「つどいの広場」の運営、さらに図書館の事業である「ブックスタート」は市からの受託事業。それぞれの子育て支援センターでは、親子の交流の場を提供する他、育児不安についての相談指導を行っています。また、ブックスタートでは4カ月児に絵本を配布し、読み聞かせの効用について保護者に対面指導を行っています。

「子ども大学ぎょうだ」への協力

子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供しているのが「子ども大学ぎょうだ」です。同法人は、企画・運営を行う実行委員として参加。入学式前に行う「角帽づくり」を中心となってサポートしています。

三鷹市家庭教育支援チーム



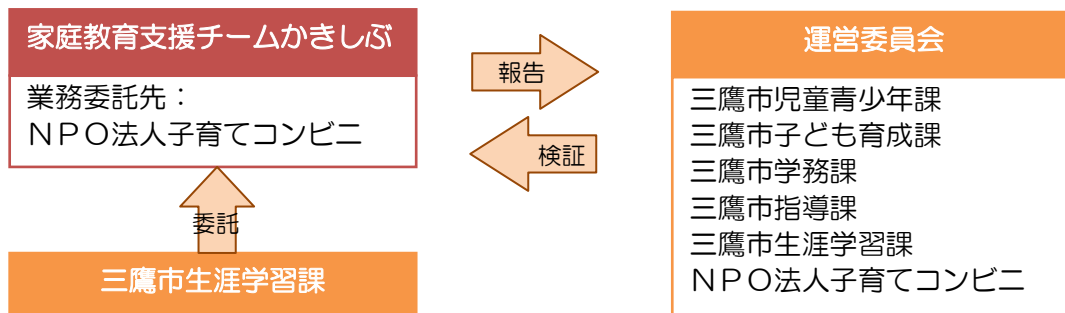
■設立の経緯

平成20年9月、＜地域SNSが家庭教育支援において有効な媒体となりうるか＞についての実証実験的な調査研究（文部科学省委託事業）を行うことを目的に活動を開始。みたか地域SNS「ポキネット」に、「小学生保護者のための家庭教育支援コミュニティかきしぶ」を開設し、小学生の家庭教育や家庭生活に関するあらゆる事（しつけ、放課後や休日の過ごし方、習い事、おこづかい等）について、自由に情報交換・交流できる場を運営しました。活発な情報交換が行われ、これをきっかけに対面交流につながるなどの成果が得られたため、調査研究事業終了後も引き続き地域SNSを母体として活動を続けることとなりました。



▲「小学生保護者のための家庭教育支援コミュニティかきしぶ」トップページ

■運営構成



■インターネットを活用した家庭教育支援事業を展開

- 平成20年9月 みたか地域SNS「ポキネット」内に「小学生保護者のための家庭教育支援コミュニティかきしぶ」を開設。以降、本コミュニティをポータルサイトとして会員が活動、スタッフとなり様々な講座（「かきしぶde学び会い講座」）やイベント・交流会を開催。
- 平成29年3月 みたか地域SNS「ポキネット」の閉鎖に伴い、本コミュニティのサービスを終了。
- 平成29年4月 家庭教育支援チームかきしぶブログを開設。

■平成29年度の事業内容

ブログの開設・運営

イベント情報や「かきしぶ de 学び会講座」のレポートなど小学生保護者が興味のある話題について情報発信を行っている。



インターネットを活用することで、家庭教育支援講座に参加できない方にも時間を問わず気軽にアクセスできる環境を整える。

家庭教育支援チームかきしぶブログ
URL <http://kakishibumitaka.blog.jp/>

家庭教育支援リーフレットの作成

「小学生保護者のための家庭教育支援コミュニティかきしぶ」に寄せられた保護者の声をまとめたリーフレットを作成。



入学準備に関することから小学生のおこづかい事情まで、小学生保護者が気になっていることについて先輩保護者からの回答やアドバイスを掲載！

家庭教育支援講座、交流会等の企画・実施

「かきしぶ de 学び会講座」(年6回)

平成29年度

- 親子で学ばかけっこ講座～今よりきっと速くなる！～
- 入学前に知りたい！学童ってどんなところ！？
- 夏休み！JAXA調布航空宇宙センター親子見学
- 親だって知りたい！小学校ってどんなところ！？
～入学準備座談会～
- 大蔵大根を収穫体験！親子で学ぶみたかの農業
- 「居場所」のない男、「時間」がない女
～どうする！子育て中の家事ギャップ、家事シェア～



▲「大蔵大根を収穫体験！親子で学ぶみたかの農業」

家庭教育支援コーディネート活動

家庭教育支援講座・交流会等の企画実施にあたり、家庭教育支援に関わる行政や機関・市民団体と協力することにより受講者につなげる、コーディネート活動を行っている。



三鷹市を拠点に子育て支援活動をしている NPO 法人。

2002年9月設立。「孤独な育児からの開放」「子育てを楽しめる環境づくり」をめざし、子育て・子育て支援サークルの交流促進、子育て情報の提供、自己実現のための社会参加支援を行っている。2008年9月より家庭教育支援チーム「かきしぶ」の運営に参加。

三鷹市家庭教育支援チームかきしぶに関するお問合せ
三鷹市スポーツと文化部生涯学習課
〒181-8555 東京都三鷹市野崎一丁目1番1号
電話 0422-45-1151(内線 2921)



神奈川県三浦市

はっぴー子育て応援団



家庭教育支援チーム



人と地域がつながり親子が育つ

家庭教育の基本である親子のより良い関わり方を学ぶ
前向き子育て講座（トリプルP）を開催
地域産業の農業、漁業とつながり地域密着子育て支援

■私たちの願い

「はっぴー子育て応援団」では、前向き子育てプログラムトリプルP（Positive Parenting Program）を活動の柱としています。プログラム内容のフォローアップ、受講後のモチベーションの維持、地域でのつながりの観点から定期的に支援事業を開催しています。また、文科省認定家庭教育支援チームとして赤ちゃんから小学生、中学生の養育者への支援も行っています。「子育てが楽しい！」と言える養育者を増やして、今よりさらに明るく、元気な三浦市にする事を目指します。そして、「世界一の素敵親子」を増やすことが私たち「はっぴー子育て応援団」の願いです。

■活動内容

- ・ママカフェ（お茶を飲みながらリフレッシュ！子育て相談コーナー付き）
- ・素敵ママ講座（地元の食材を生かしたプロが教えるお料理教室）
- ・親子で収穫体験（初春、初夏、夏、秋）三浦野菜をおいしく食べよう！
- ・Global Friends（グローバルフレンズ子どもたちの未来につながる）
世界に目を向けた視点を持ちながらコミュニケーション力を付ける
- ・ファミリーdeパーティー（家族と地域がつながります！）

■活動メンバー

●地域を愛する多職種・多経験者の元市内小学校校長、幼稚園長、保育園長、民生主任児童委員、小児科医師、看護師、保育士、市議会議員、ボランティアスタッフがメンバーです。また、三浦市（子ども課、教育委員会）、保育園、幼稚園、小学校、中学校、市立病院、子育て支援センター、療育センター、社会福祉協議会、ソロプチミスト・他ボランティア団体と連携して子育て支援を行っています。

■前向き子育てプログラムについて

トリプルP（Positive Parenting Program）は、オーストラリアのクィーンズランド大学が開発したプログラムで、親の知識、技術、自信を高めることで、子どもの行動面、情緒面および成長過程の問題を予防し対処するために提案されました。この子育て支援プログラムは、WHO（世界保健機構）で推奨され、科学的根拠（エビデンス）に基づいたプログラムであることから柔軟性と領域の広さから異なる地域や言語的に多様な背景でもアジア、オセアニア、ヨーロッパ、北米、中東など世界25カ国で採用されています。日本国内では、医療系大学、小児科医師、看護師、小中学校の教師や子育て団体等、行政の保健部門の専門家に多く採用されています。



■活動風景の一コマ

・親子で収穫体験（初春、初夏、夏、秋）三浦野菜を美味しく食べよう！



・子育てパパ講座



パパ達も頑張ってます

・Global Friends(グローバルフレンズ)開講



世界に目を向けた視点

・ママカフェ



ママが見えるから安心！



お茶でリフレッシュ！

・ファミリーdeパーティー



家族と地域がつながります！



・素敵ママ講座（地元の食材を生かしたプロが教えるお料理教室）



切り身魚にママたちが「サバ」きます



三浦市漁協婦人部の皆さんと参加者
おいしく頂きました！



お問い合わせ先

070-1554-8383 又は happymiura@yahoo.ne.jp

担当 松岡、池田

子育て相談、子育てセミナー講師依頼承ります。

学校の中に誰でも気軽に立ち寄れる部屋をつくりました

南魚沼市家庭教育支援チーム 《だんぼの部屋》

だんぼの部屋とは？

市内の4つの小学校と総合支援学校の中で、保護者が気軽に立ち寄って、安心して子育ての悩みや思いをつぶやける場所「しゃべり場サロン」として運営しています。その他に親子を対象とした料理教室、ものづくり教室など、さまざまな活動を行っています。



～しゃべり場サロン（市内4小学校・総合支援学校）～

気軽に先輩ママである家庭教育支援員とおしゃべりすることで、保護者のみなさんが「ほっ」とできる場所です。



六日町小学校
（毎週火曜日に、各校のスタッフが集まり
全体ミーティングを行っています）



塩沢小学校
（担当スタッフ2名が交代で活動しています）

～親子料理教室と親子ものづくり教室～

親子で楽しみながら交流を図る機会を提供しています。



親子料理教室
（サバイバルクッキング）



親子ものづくり教室
（カラーゴム工作）

～保護者向け学習会の開催～

子どもとの関わり方をテーマにした学習会や、大人向けの絵本の読み聞かせ教室を開催しました。



「親業」学習会 祖父母編
(子ども・孫との関わり方)



大人向け絵本の読み聞かせ教室

～広報紙「だんぼろROOM」の発行～ 年 10 回程度発行

児童教育支援チーム広報誌 **だんぼろ ROOM** 488号 6頁
平成29年12月号 児童教育支援チーム事務局

ようこそ支援チーム、だんぼろの部屋へ

ほっぺスプーン

～子どもだって頑張ってるんだ～

2学期はいろんなことがありました。
至しかなかったマラソン大会
緊張した学習発表会
毎日出る漢字・計算ドリルの宿題
大人はいつか「頑張れ、頑張れ」って言うけど
もうこれ以上頑張れない〜って思うこともある。
大人だって、仕事や家事を「頑張れ、頑張れ」ばかり言われたらイヤでしょ？
どっからって言う、言ってもらってうれしいのは、「頑張ってるね！」
どなたかカッコいい言葉より、心のこもった一言の方がずっといい。
ちゃんとほくらを見てくれてる人に、言ってほしいな。

～お知らせ～

だんぼろ便覧 in 総合支援学校
日時 12月25日(月) 13:00～14:30
会場 総合支援学校調理室 マガロン
お趣向は好きな食べ物しか使わない？
今回は栄養満点のお趣向を食べて、おいしい
親子やラスクを作っちゃいます！
お趣向のイメジエ、お楽しみに！！

お正月リース献当 in 北原小学校
日時 12月29日(火) 9:30～11:30
会場 北原小学校「だんぼろの部屋」
お正月にぴったりの、クリスマスリースならぬお
正月リースを作ります！保護者の方も大歓迎！！

※詳しくは、だんぼろ 学校からのチラシを見てね！！

だんぼろの部屋へどうぞ

部室で実際に活動中があります

学校名	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
六小 772-2067	◎	◎	◎	◎	◎
豊登野香梅田 北原小			△	☆	△
岩井石山 △原の子供探偵					
龜沢小 782-0313	○	○	○	○	○
駒形児童館山 浦佐小 777-2871			○		
井口佐藤 総合支援学校 菅井上村			○		

◎13:00～15:00 ○9:30～12:00 ☆15:00～18:00

「だんぼろの部屋」六日町小学校内職員玄関正面 電話：ファックス 772-2067
090-7805-3069(だんぼろ携帯)
児童教育支援チーム事務局(南魚沼市子ども若者育成支援センター内) 電話 773-6611

そのほかにも・・・

- ・保護者同士が仲よくなることを目的に、就学前の保護者交流会を開催
- ・家庭教育支援員が自らの能力を高める目的で、「スタッフ研修会」を実施
- ・新一年生の保護者へ、メッセージカードを配布

取組のポイント

- 無理せずできることを続ける
 - ・地域の大人として対応
(先生でも保護者でもない大人としての立場)
- 活動を楽しむ
 - ・義務感や責任感では苦しくなる

連絡先

南魚沼市教育委員会 子ども・若者育成支援センター

住所：〒949-6623

新潟県南魚沼市二日町428番地1

電話：025-773-6611 ファックス：025-773-6632

すくすくわくわく まあるいところ



【団体概要】

代表 高橋 えつ子
 設立 2009年4月
 構成員 42名
 中津川市子育てサポーター認定者
 岐阜県子育てマイスター認定者
 連絡先 090-7698-8799

『まあるいところ』理念

子育てには喜びとともに、たくさんの心配ごとや悩みごとがつきもの。私たちはそんなお母さんや、子どもたちに寄り添って、一緒に子育てを楽しみながら、子どもとともに自らも育ちたい。そんな「明るく」「元気な」お母さんたちが作り上げた子育て支援団体です。

広げる・つながる 子育ての「わ」

まあるいところが誕生するまで…

中津川市は核家族化や地域社会の希薄化が進み、子育てに不安をかかえる親が増えている現状を踏まえ、平成20年度10月から1年間、18回の「子育てサポーター養成講座」を開講。この講座では家庭教育支援の充実を目指し、親への子育てに関する助言や子育て交流事業の企画・推進、子育てネットワークの運営などの活動を担う人材「子育てサポーター」の養成を行いました。講座を通じて様々な学習や感動的な体験をした90人の修了生からあふれ出したのは、「この講座で学んだスキルを活かしたい」「一人ではできないけれど、みんなと一緒になら、なにかできるかもしれない」という声・声・声…。 そんな、みんなの想いが集まって「すくすくわくわくまあるいところ」が誕生しました！



講座の様子



救急救命法（赤十字
幼児安全法）も実習



おんぶにだっこ…等
集団託児実習

活動内容

- 集団託児
- 乳幼児学級・家庭教育学級・子育て支援
ワークライフバランスセミナー等の企画
運営・講師
- 子育て相談
- 学習会の開催（読み聞かせサポーター、子育て
緊急サポーター、わらべうた等）
- にぎわいプラザ子育て支援センター業務受託
- 幼保・小学校 読み聞かせキャラバン隊
- 保育士助手

平成28年度年間活動数

事業数 802件
 実動人数 2,698人



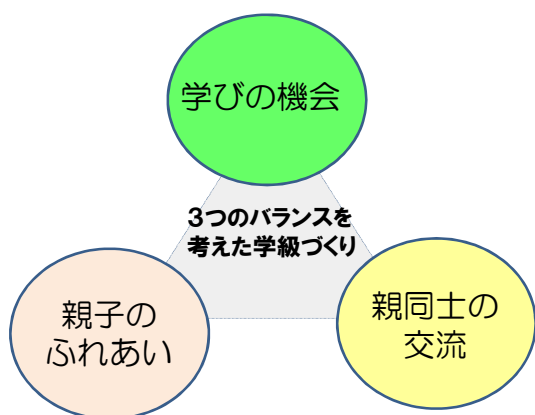
一日に約7人のスタッフが中
津川市全域にまあるいところ
を届けています～

乳幼児期家庭教育学級の取り組み

家庭教育学級は、親が子どもの心身の発達上の課題などを学び、親の役割や家庭の在り方を再認識するなど家庭教育に関する学習機会として重要であるばかりでなく、この事業を通じて同じ悩みを持つ親同士が相互に交流し合い、親の自発的な学習を促していくことが重要と考えます。私たち家庭教育支援チームは地域に根ざした乳幼児学級のサポートに力を入れています。

【乳幼児学級の企画運営】

地域のサポーターが年間を通じて担当するため、親さんが安心して話や相談ができる。市内全域で活動している為、13地域の乳幼児学級の様子を把握し、地域性を生かしながらも、家庭教育の基本、意義を伝えていくことができる。



【サポート】

親さんが自発的に動ける学級を目指し、サポートすることを心がけている。

乳幼児学級マニュアルを基に進行表を作成し、グループごとに当番制で受付、司会進行、価値づけできるようにしている。

お母さん方が集中して講話を聴いたり、救急救命法などを学ぶ時には、集団託児を行います。



【講師】

親子ふれあいあそび、食育、手作りおもちゃ、読み聞かせ、リズムあそび、新聞あそび、継承していきたいわらべうたあそび、地域のつながりを大切にしたい三世代交流、水遊び、季節感のある思い出づくり等一度やったら終わりではなく、お母さん方が家でも気軽にやってみようと思える内容。日ごろの子育てに取り入れられる内容。



家庭教育ネットワーク



家庭の教育力の向上を目的として、焼津市教育委員会の委嘱により活動しています。平成 10 年にチームが設立されてから現在まで継続して活動を行っており、コンパクトなチーム編成で、持続できる家庭教育支援・小回りの利く家庭教育支援が強みです。自分たちも楽しみながら、親子体験型の講座や子育て講演会の開催をしています。

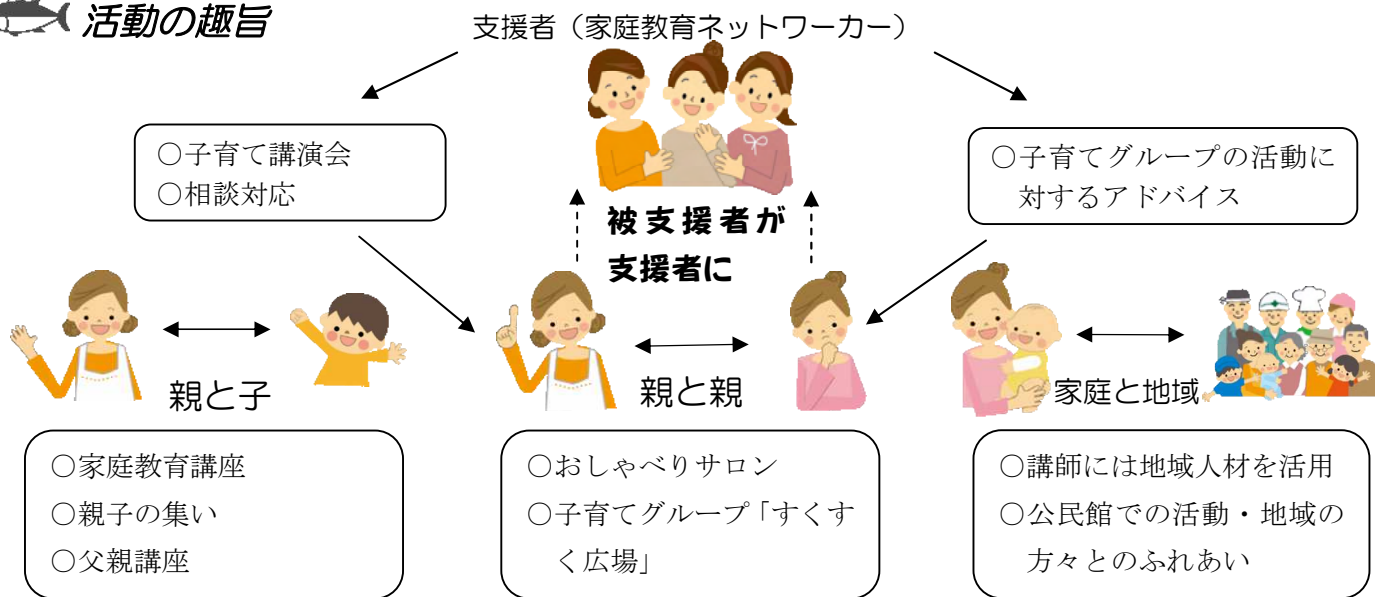
～チームメンバーについて～

子育て経験のある一般の主婦 4 名で構成されています。中には、幼稚園教諭や保育士の資格を持つメンバーや、子育てグループでリーダーを経験した、子育てグループ卒業生などがいます。構成メンバーや人数は、長い活動期間の中で変化していますが、その結果、無理なく活動を続けられ、時代の変化や保護者のニーズに合わせた、柔軟な支援ができています。



焼津市公式ゆるキャラ やいちゃん

活動の趣旨



様々なネットワーク（つながり）を形成するための架け橋となるのが「家庭教育ネットワーク」です。

特色ある活動

家庭教育ネットワークの活動の1つとして「子育てグループの支援」があります。子育てグループは、基本的に、参加者（保護者）自身が活動の計画・運営をしますが、どうやって計画していいかわからなかったり、活動の中で困ったことが出てきたりすることがあります。そんな時、助け舟を出す役割として家庭教育ネットワークが活動を見守っています。この見守りは保護者間のリーダー育成や次世代の家庭教育支援者の育成にも寄与しており、持続できる家庭教育支援・循環型の家庭教育支援となっています。

🐟 主な活動内容

親子体験講座や子育て講演会の企画・運営

平成 29 年度は、つみき遊びの親子参加型講座と、父子で地元の名産品かつおぶしについて学ぶ食育の父親講座、保護者向けに、姿勢について考え直す講演会を開催しました。年度ごと内容を見直し、ニーズにあった講座となるよう、工夫しています。



↑ 積み木遊び講座の様子

5 月から 3 月の間の毎月、小学 1 年生がいる家庭に向けて、子育て情報誌「種 NET (たねっと)」を発行し、市内全ての小学校に配布しています。内容は、季節に合った子育てに関する情報提供や家庭教育講座のお知らせなどです。

子育て情報誌の作成



← すくすく広場「親子体操」の様子

就学時健診時子育て講演会の開催

保護者が多く集まる就学時健康診断の場を利用し、子育て講演会を開催しています。近年は、元校長先生に講師をお願いしており、「基本的生活習慣と親子のコミュニケーション」をテーマに、教師時代の経験をもとにしたお話をして頂いています。



相談事業の開催

公民館などを会場に、気軽に立ち寄れる予約不要の相談事業「おしゃべりサロン」を、年 4 回程度開催しています。子育ての悩みや困りごとなど、他愛のない話をする場として、お菓子や飲み物を用意して待っています。

市内に 10 グループある子育てグループ「すくすく広場」の活動に対する助言や、参加している保護者の相談役などを行っています。なお、子育てグループの活動は 1 グループにつき月 2 回ほどで、親子で工作やリトミックなどを楽しみ、親と子・親と親のつながりを作る場になっています。

子育てグループの相談役



↑ すくすく広場「クリスマス会」の様子

～活動の成果・効果～

- 周囲に相談できる人のいない親・若い親の孤立を防ぐ。
- 子育てに不安を持つ親が相談しやすい環境をつくる。
- 互いに子育ての悩みや不安を話し合うことにより、悩みや不安が軽減される。
- 親子で楽しむ講座を開催することで、親子が触れ合う機会や子育てについて見つめ直すきっかけをつくる。
- 父親の家事・育児参加が促進される。
- 不安を感じやすいライフステージ（子の就学前・就学直後）の親を重点的に支援できる。



乳幼児を持つ親とともに ～地域で活躍する子育てネットワーカー～

一宮市家庭教育支援チーム

子育てネットワーカー一宮

「子育てネットワーカー」とは子育ての経験があり、愛知県や一宮市が主催する養成講座を修了したボランティアです。地域の中で子育て中の親たちの相談にのったり、一宮市が行う家庭教育支援活動に参加・協力をしています。

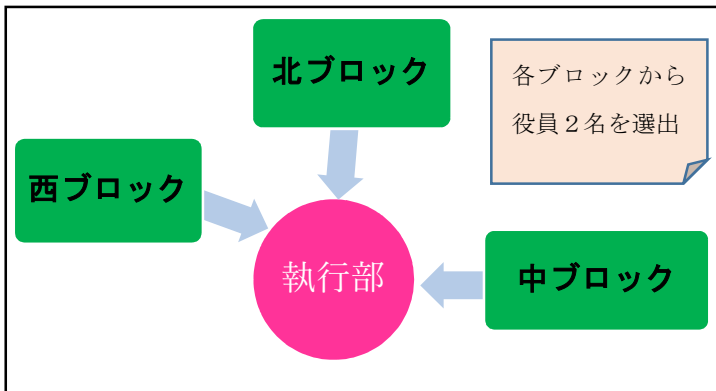


子育てネットワーカー一宮について

- ・登録者数（平成29年12月現在） 89名
- ・活動開始年月 平成9年4月
- ・活動拠点 市内16ヶ所の公民館や市庁舎

組織活動について

組織は主に活動する地域によって3ブロック（中ブロック・北ブロック・西ブロック）に分かれています。各ブロックから2名ずつ選出された役員で執行部を構成しています。



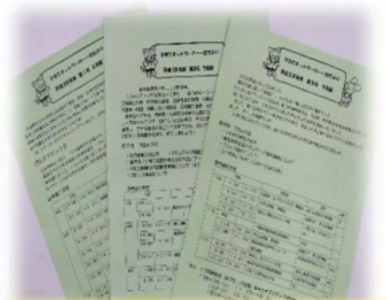
執行部の活動

- ・ネットワーカーだよりの発行（年6回）
- ・全体会の企画・運営
- ・現場から出た問題点の検討・報告

全体会 → 偶数月に開催、総会や研修会・交流会などを行っています。

ブロック会 → 奇数月に開催し、各ブロック内で意見交換や各事業での役割分担を行います。

ネットワーカー同士の交流を深め、自らのスキルアップに努めています！



（ネットワーカーだよりの）





子育てネットワーク一宮の活動



フレッシュママ交流会

第一子の0歳児とその母親を対象に月2回、3会場で開催しています。親子あそびやグループトークなどを通して、子育ての不安や悩みを話し合い、友達づくりを支援する場となっています。



フレママひろば

0・1歳児とその親を対象に月1回、11会場で開催しています。各会場で工夫をこらした親子あそびや季節の行事、製作などを通して友達づくりや情報交換の機会を提供しています。



ステップアップママひろば

2歳から未就園児とその親を対象に月2回、2会場で開催しています。親子体操や製作など、子の発達段階に合わせたプログラムを取りいれています。



ぴよぴよらんど

幼児とその親を対象に月1回、2会場で開催しています。年齢制限を設けていないため、兄弟参加や幅広い年齢での交流ができる場となっています。

上記の活動は、一宮市生涯学習課が主催する「乳幼児期の家庭教育支援事業」の一環として、私たち「子育てネットワーク一宮」が企画から運営までを行っています。それ以外にも「放課後子ども教室キッズi(アイ)」や「おもちゃ図書館」などに参加協力しています。また、他の自治体のネットワーク一とのつながりも大切にしており、尾張北地域でのネットワーク同士の交流も図っています。

核家族化が進み、就園前の子を持つ親たちは地域でも孤立しがちで、子育てに対する不安や悩みを誰にも相談できずにいる人もいます。私たち子育てネットワークは、地域における身近な子育て支援者として、子育て中の親に寄り添い、家庭教育の重要性を伝えていながら、「子どもたちの成長を見守る活動」を続けていきます！



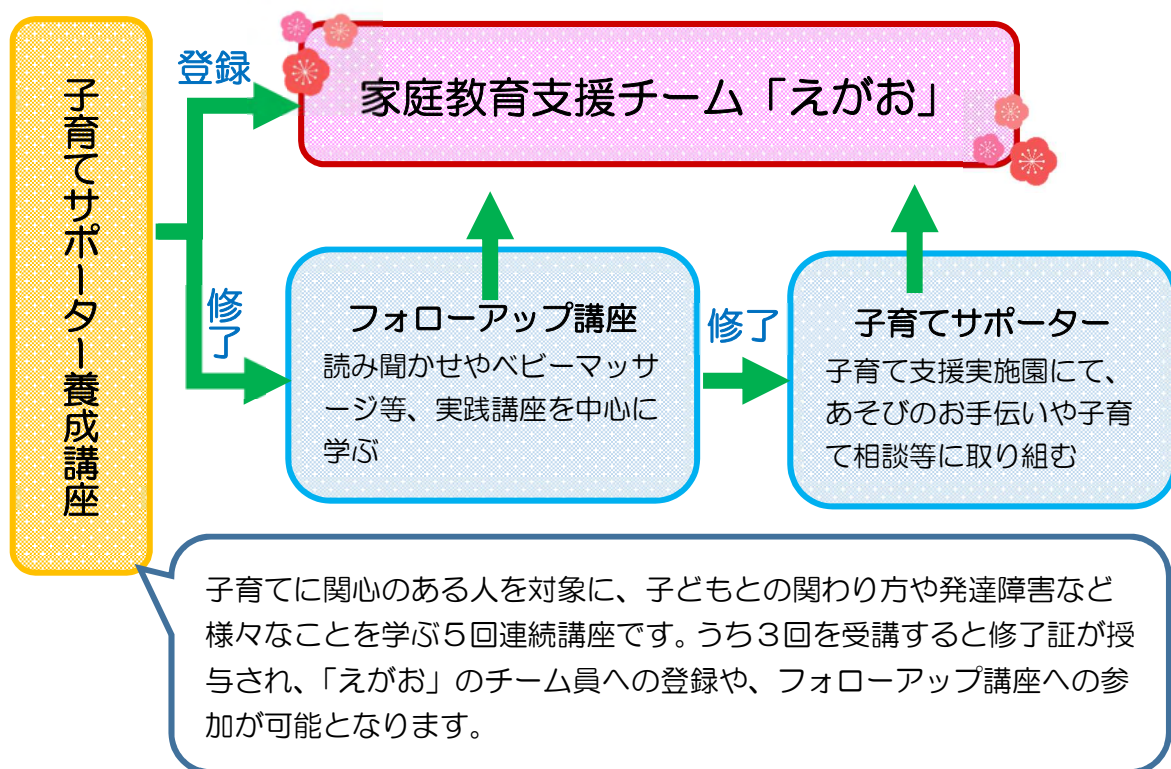
〈お問い合わせ先〉一宮市教育委員会 生涯学習課

〒491-8501 一宮市本町2丁目5番地6号 TEL(0586)85-7074

滋賀県長浜市 家庭教育支援チーム「えがお」

家庭教育支援チーム「えがお」は平成21年1月13日に発足しました。市主催の「子育てサポーター養成講座」修了生で構成され、年1回の会報誌の発行や、市内のまちづくりセンターで、子育てに関する講座や親子で参加できるワークショップ等を開催しています。

子育てに関する悩みや相談ごとを気軽に話せる機会を作ることで、子育て中の親の孤立を防ぎ、地域全体で子育てを支える基盤づくりに取り組んでいます。



✿ 絵本シリーズ ✿

親子で絵本の読み聞かせやミニ絵本作りを楽しむ、家庭教育支援チーム「えがお」の主要イベントです。平成23年度からスタートし、地域の子育てサロンや、まちづくりセンターの講座等と連携し、市内全域での開催を目指して年1～2回実施しています。



①絵本と遊ぼう

えほんのひろば(*)に囲まれて、チーム員による大型絵本や紙芝居等の読み聞かせを親子で楽しめます。

②絵本をつくろう

あいうえお作文形式で子どもの名前をなぞらえた世界でたった一つの絵本をつくります。

③絵本とケーキの会

ケーキ作りで交流を深めた後、作った絵本を発表します。写真や子どもの足形など参加者の様々な工夫がみえます。

*えほんのひろば：100冊の絵本を表紙が見えるように並べ、子どもたちに好きな本を自由に楽しんでもらう(長浜市立図書館)



【参加者の声】

- 絵本をつくってあげたいなと思わせていただき、こんな機会がなければきっと忙しいからといって、いつかいつかで子どもが大きくなってしまっていたと思います。今の時期の成長を私たちならではの目線につくれ、とてもいい機会となりました。
- 子どもを預けて簡単なお菓子作りがとてもリフレッシュになりました。みなさんの子どもさんに対する思いが伝わってきて感動しました。ケーキもとてもおいしかったです。

✿ 子育てサポート通信「えがお」 ✿

毎年、年1回(秋～冬頃)に子育てサポート通信「えがお」(会報誌)を発行しています。誌面では、読み聞かせにおすすめの書籍や手遊びの紹介から、行政相談窓口や子育てサークル案内等、多岐にわたる子育て情報を掲載しています。



交野市家庭教育支援チーム

ポラリス

交野市子ども家庭サポーターの会



ポラリスのあゆみ：

大阪府の子ども家庭サポーター養成講座修了生の有志が2005年に立ち上げ、当初は保護者からの相談に応じると共に、福祉サービス等へのつなぎ役を果たすボランティアとして活動をスタートしました。

親学習リーダー研修も順次受講する中で、親学習講座も担当するようになり、市の委託を受けた地域子育て支援拠点事業（ぼらりすひろば）の運営など、活動の場を広げています。

団体名(ポラリス)の由来

活動する交野市内には星田地区、天野川、機物神社などの星にまつわる地名や名前が多いことから、グループ名をポラリス（北極星）としました。

◆ 家庭教育学級 子育て親なまび講座

大阪府教育委員会作成の親学習プログラムに沿って 親学習リーダー養成講座修了者が参加型ワークショップを行う。

大切にしている事は『参加、尊重、守秘、時間』

交野市では家庭教育学級で年5回の親まなび講座を行う他、近隣市の学校・教育委員会などからの依頼にも対応している。

ひろばスタッフの養成講座の中でも取り入れて活発な話し合いで学びとなっている。

主に保護者を対象にしている親まなび講座であるが中学生、高校生を対象とした授業にも少しずつ取り組んでいきたい。



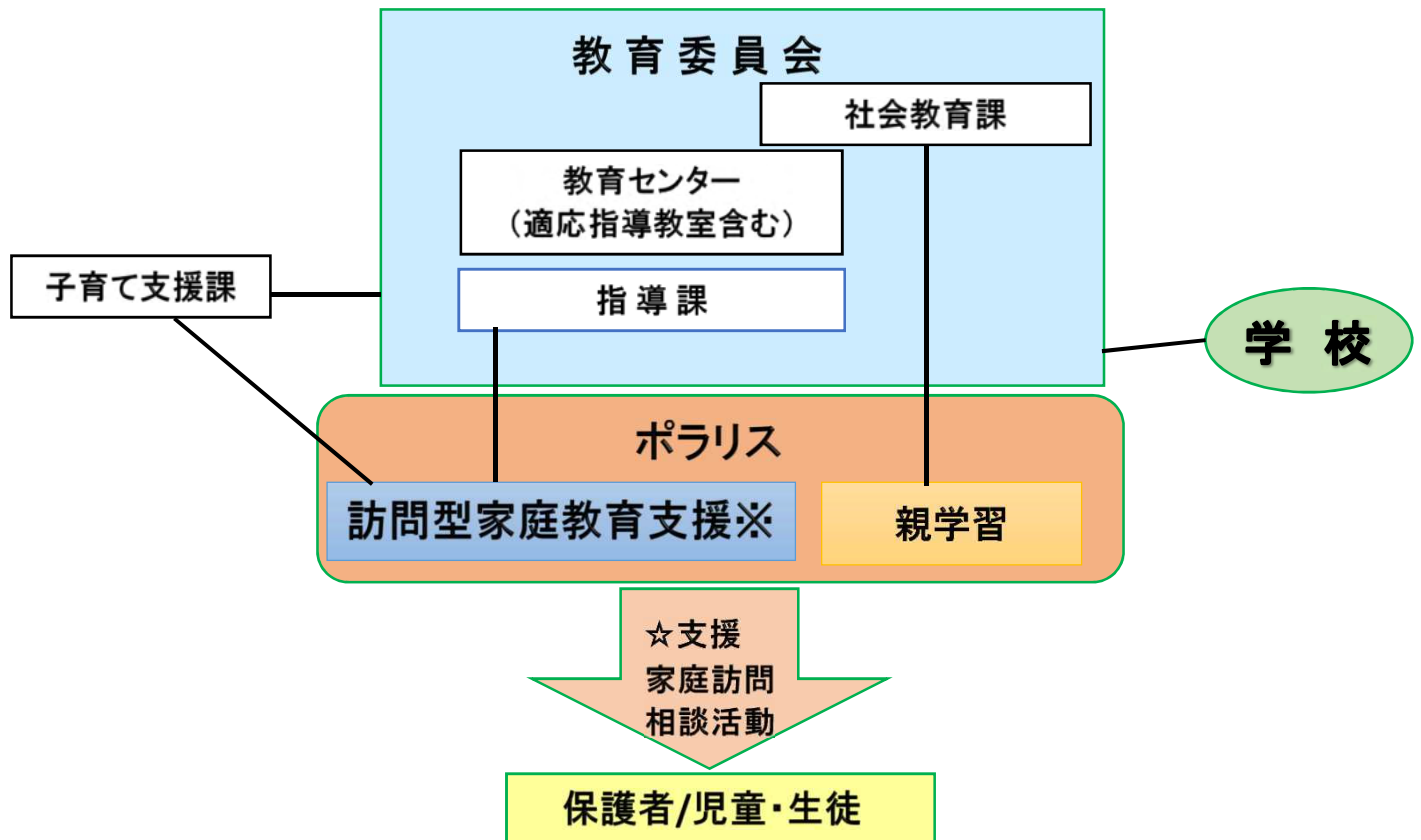
『親学習風景』



『スタッフ養成講座風景』

◆ 訪問支援※

- 訪問型家庭教育支援(交野市教育委員会)
- 交野市育児支援家庭訪問事業(子育て支援課 家庭児童相談室)



◆ 交野市地域子育て支援拠点事業 (ぽらりすひろば)



「ぽらりすひろば」で大切にしていること

- ◆ あいさつ・笑顔(入りやすい言葉がけ・雰囲気)
- ◆ 居心地のよい場所の提供(利用者の気持ちを大切に)
- ◆ 守秘のルール順守
- ◆ 「あなたが大切」という思いの伝わるコミュニケーション
- ◆ 自他尊重(成長を信じる)
- ◆ 日々自己研鑽(自身を知るためには学び【研修】が不可欠)
- ◆ 利用者だけでなくスタッフにとっても居心地のよい空間の提供

「ぽらりすひろば」

住所：交野市幾野2-6-1
 第1児童センター子育て支援室
 TEL：072-893-1414
 開催：火曜日から土曜日10時～17時

「つながろう 湯浅！」

～人と人がつながる家庭教育支援～

湯浅町
子育て・家庭教育支援チーム
「とらいあんぐる」

c	o	m	m	u	n	i	T	y	地	域					
s	u	p	p	o	r	t	支	援							
a	d	m	i	n	i	s	t	r	a	t	i	o	n	行	政
e	d	u	c	a	t	i	o	n	教	育					
c	h	i	l	d	r	e	n	子	ど	も					
														良	い
s	c	h	o	o	l	学	校								
h	o	m	e	家	庭										

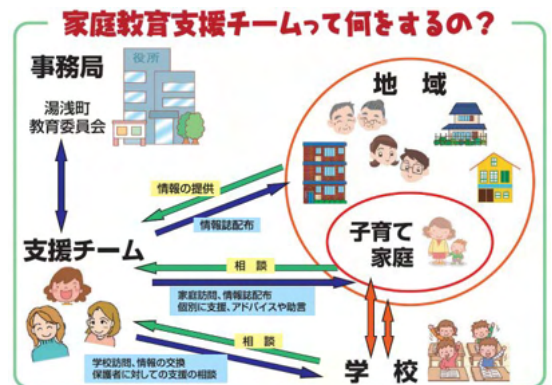


チームメンバー

リーダー（SSW） 1名
サブリーダー 1名
アドバイザー 1名
訪問支援員 13名

教育委員会と福祉部局との連携・協働

平成21年度から小・中学校児童生徒家庭を対象に活動していたが、平成27年度からは健康福祉課の利用者支援事業を活用することで、0歳児から義務教育終了までの全ての子育て家庭対象に「切れ目のない子育て支援」を行う体制が整った。



全戸家庭訪問

0才児から中学3年生までの子供がいる全ての家庭をA・B・Cの3ブロックに分け、1ヶ月に1ブロック、3ヶ月で全家庭を訪問する（年間4回訪問実施）。



- ・「つながろう 湯浅！」を合言葉に、「人と人とがつながる家庭教育支援」を目指し、地域のつながり作りに取り組む。
- ・直接家庭に出向き、家庭教育についての情報提供や相談対応を行いながら、ニーズに応じた支援を継続的に行う。
- ・問題の未然防止及び早期発見・早期対応に繋げる。



家庭教育情報誌の発行

訪問のツールとして活用



情報誌「すまいる」

「すまいる²」3才児～中学生の家庭対象
 「Baby すまいる」0才児～2才児の家庭対象
 「全戸配布用すまいる」町内全家庭対象

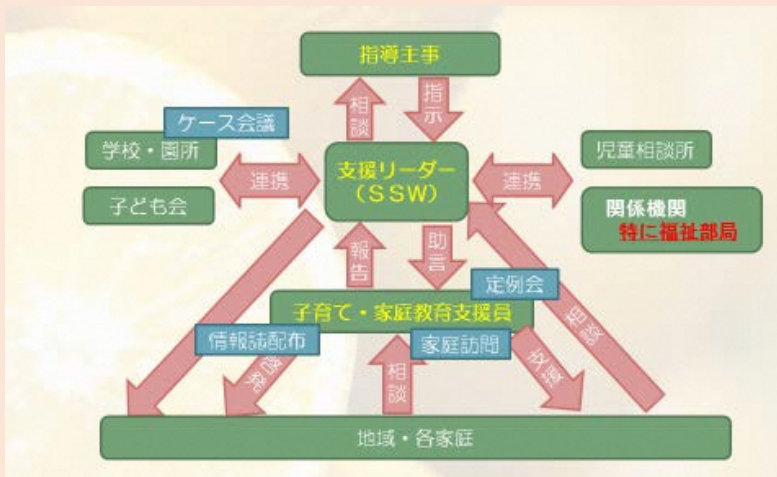
～主な内容～

子育てアドバイス（漫画）、料理レシピ、
 学校・保育所・幼稚園の行事の様子 など



学校や関係機関との連携

保護者・学校・地域・関係機関からの相談や情報の対応については、学校や関係機関と協働でアセスメントし、役割分担をしながら適切に、ニーズに応じた支援活動を行う。



SSWを中心とした支援体制



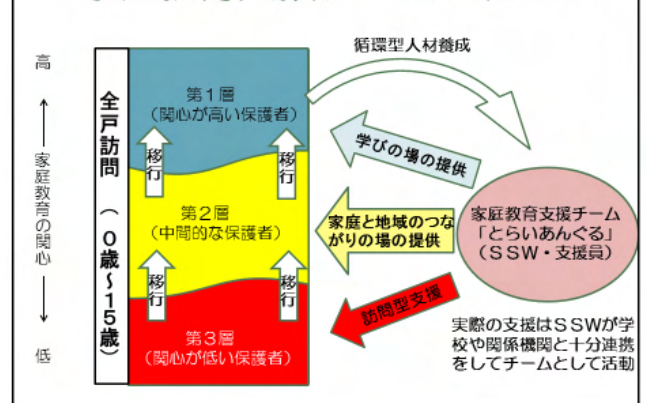
循環型の人材育成

訪問を受けていた家庭教育に関心の高い保護者が、支援員となって活動していく循環型の人材育成へ!!

家庭支援の3つのキーワード

- “気づく（見つける）”
- “見守る（寄り添う）”
- “繋げる（関係機関につなげる）”

家庭教育支援チームのねらい





広島県尾道市

向東地区家庭教育支援チーム



“親ちから”



親ちからとは・・・？

◎目的は・・・

- ・家庭の教育力の向上を図るため、子育て中の保護者にきめ細やかな家庭教育の支援を行う

◎役割は・・・

- ・地域の子育てサポーターであり、親子を取り巻く関係者の連携のパイプ・コーディネーター役

◎発足は・・・

- ・平成20年9月30日、全国282カ所、広島県8カ所の1つとしてスタート

◎名前の由来は・・・

親のちから + “若い” おやじの力 ⇒ “親ちから”

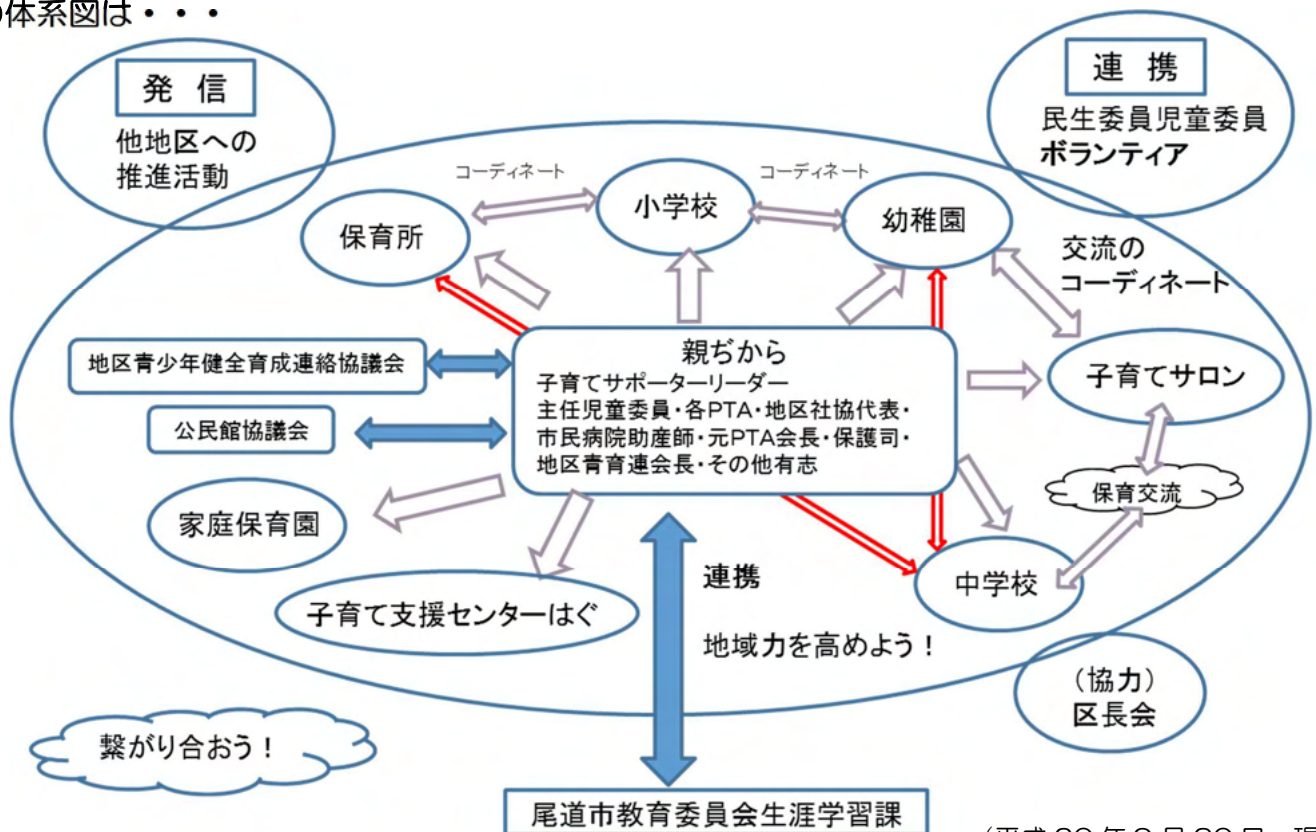
※家庭教育の基盤となるのは、各家庭であり、親のちからが子どもの成長に大きな影響を与える。
また、家庭の柱となるべき若いおやじの力も大いに発揮してほしいとの思いから命名。

チームのメンバー＆体系図

◎メンバーは・・・

子育てサポーター・主任児童委員、幼稚園・小学校・中学校PTA、保育所後援会、助産師、地区社会福祉協議会、地区青少年健全育成協議会、市議会議員、有志

◎体系図は・・・



(平成20年9月30日～現在)

活動内容は・・・

1. 家庭教育や子育てに関する情報提供
2. 学習機会の提供・・・子育て・親育ち講座の実施、コーディネート
3. 家庭教育基盤作り活動・・・子どもたちへの学習提供・体験活動実施、コーディネート
4. 関係機関との連携と協働
5. 相談対応・・・支援を必要としている家庭・保護者の把握、支援の継続・見守り

その中でも特に、『家庭教育基盤作りの推進と充実』に力を入れています。

H.27～29年度は、『本物に触れよう!』をテーマに、親や子どもたちへの学習・体験活動を提供

- 幼稚園児・・・CAP講座、わらべうた など
- 保育所園児・・・食育、巨大紙芝居鑑賞、絵本作家原画展とお話 など
- 小学生・・・夕顔の取り組み、CAP講座、生と性のお話 など
- 中学生・・・子育てサロンとの保育交流、園児との読み聞かせ交流企画 など
- 地域で・・・オータムコンサート、夏休み・冬休み・春休み子ども教室 など

子育てサロンと中学生3年生の交流



～参加者の感想～

- ・改めて、小さい子ってやっぱりかわいいなと思いました。(男子生徒)
- ・僕には下の兄弟がないのでこれまで子供を抱っこしたことがありませんでした。今日初めて赤ちゃんを抱っこしてみて、温度とか重さを体で体験できて、本当にいい経験ができたと思いました。(男子生徒)
- ・楽しかったし、お母さんにとても参考になるお話が聞けて良かったです。(女子生徒)
- ・毎回来て思うことが、この子が10年後に皆さんみたいに優しいお兄さんやお姉さん達になってくれたらいいなということと、うちの子もこのような機会に恵まれたらいいだろうなということです。(母親)
- ・おもちゃも買ったものばかりなので、こんな風に作ってあげたらいいのかなと思いました。(母親)

※中学校の先生方からも、生徒の違う一面をみることができ、思春期の子供たちにとって、とてもよい体験だと大変好評です。

親子の伝承料理教室(食育)



～参加者の感想～

- ・この講座で“食”の意識が変わりました。
- ・帰って早速、出汁を作ってみました。手間を少しかけることで、普段の料理がかわるんだなと改めて思いました。
- ・和食の美味しさを改めて感じました。

☆今後の展開☆

各PTA・保護者会との連携を深め、親育ちにつながる家庭教育支援の拡充を目指す地域における新たなニーズを把握し、よりよい家庭教育基盤作りにつながる学習の場を提供

問合せ先：尾道市教育委員会生涯学習課

(TEL) 0848-20-7444 (E-mail) shogai@city.onomichi.hiroshima.jp

山口ゆだ・かべり

かべり (kaveri)とはフィンランド語で「なかま」「ともだち」という意味です。

生きる力（自尊感情と自己有用感の醸成）を育む!!

～福祉と教育・市民と行政の協働と連携による

地域の子育て支援・家庭教育支援の充実を図ります～

家庭教育支援チーム「山口ゆだ・かべり」は、白狐が毎夜温泉に浸かっていたところをお寺のお師匠さんが発見し、田んぼの中から金色のお地藏さまや源泉が湧き出したことから「湯田」ゆだと名付けられた由来を持つ地域の中学校と地域子育て支援拠点「子育て支援交流広場ちゃ☆ちゃ☆ちゃ」が連携し実施している「湯田中学校ひろば」から生まれました。

学校の空き曜日教室や地域交流センターの空き曜日スペースに、居心地のいい家庭的な居場所（環境）を定期的に設置し、子育て中の乳幼児親子や中学生・小学生・保護者・地域のみなさんが気軽に立ち寄りかわり合える、世代を超えた交流の場となっています。

子育てを共有し赤ちゃんからお年寄りまで家族のように過ごせるこの場ではみんながおともだち（なかま）です。

世代が混ざり合う中で、子育ての悩みや相談も自然に話し合え、育児不安やストレスの軽減にも繋がっています。

おとなも子どもも、みんなが育ち、育て合い、学び合える関係性が自然に生まれ、家庭教育を支え合えるような地域の温かいゆりかごのような居場所（環境）づくりを目指しています。

家庭教育支援チーム「山口ゆだ・かべり」

☆子育て支援グループママキューピット

☆子育て支援交流広場ちゃ☆ちゃ☆ちゃ

（地域子育て支援拠点）

☆湯田中学校

☆湯田小学校

☆湯田地域交流センター

構成

家庭教育アドバイザー

地域協育ネットコーディネーター

地域子育て支援員

地域子育て支援士

地域子育て支援コーディネーター

利用者支援専門員

大学教授

教師

保育者

保健師

看護師

保護者（未就園児・幼保認定こども園・小学中学高校生）

大学生

母子推進員



湯田地域の子育て支援ネット



湯田中学校ひろば相関図



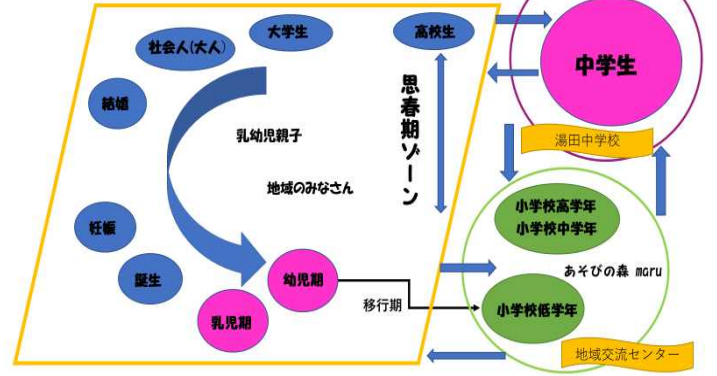
【お母さんの感想】

- ・中学生がよく遊んでくれ、中学校をとても身近に感じました。また、男子生徒が多く関わってくれたことが印象的でした。
- ・「湯田中ひろば」に集まるお母さんや「ちゃ ちゃ ちゃ」の先生、学校の先生方がとても話しやすく、私のリフレッシュの場にもなっています。
- ・親の視点からは、このような学校の環境の中で学んでいるのだと知る機会になり、今後の参考になります。次回も利用させていただきます。

【生徒の感想】

- ・普段、赤ちゃんと関わる機会がなく、昼休みや休み時間に赤ちゃんと関わる事ができるので、とても充実した時間を過ごす事ができています。
- ・赤ちゃんとふれあうことが楽しくて、星からも授業を頑張ろうという気持ちになります。

地域の居場所



湯田中学校ひろば ☆ 毎週水曜日 AM10:00～PM15:00 ☆

(視聴覚教室にできた小さなコミュニティ)

- 10:00～11:30 フリータイム お子さんと自由に遊べます
- * 地域の方や教師による地域子育て支援講座 毎月1回
- 11:30～12:30 昼食タイム・Caféタイム
- 12:30～13:00 フリータイム お子さんと自由に遊べます
- 13:30～13:30 中学生と乳幼児親子とのふれあい
- 13:30～15:00 フリータイム お子さんと自由に遊べます

～子育てに関する悩みや相談は随時受け付けております～

連絡先：子育て支援交流広場 ちゃ☆ちゃ☆ちゃ
(TEL) 0 8 3 (9 2 2) 4 3 2 5 (代表・佐藤)

あそびの森 maru あそびの創造

湯田小学校児童全学年対象 (参加児童は会員制)
毎月第2・第4水曜日 放課後14時40分～16時45分 地域のみなさんと子どもたちの「ふれあいひろば」

森カフェ・maruトーク
持ち寄りのMytegグッズでお茶を飲みながら保護者のみなさんを中心に集まった方々でもtalk・交流の場 (あそびの森maru 開催時間)

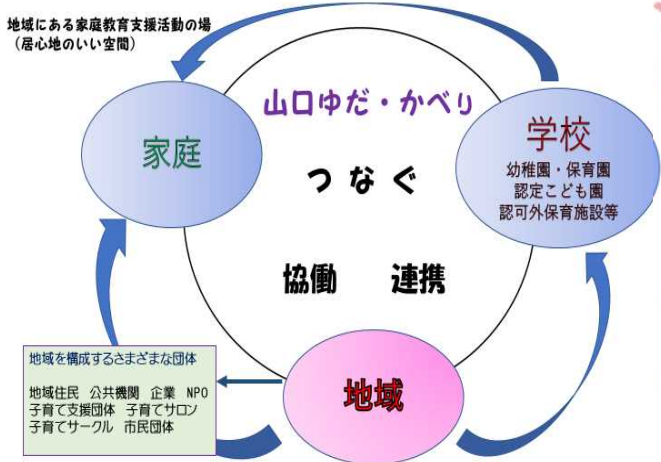
自主的な学習活動

さまざまな体験から学ぶ意欲を育みます
主体的なあそびの創造活動・・・作る・創る・造る・つくる・自分を表現する
作る・描く・表現するなどの文化活動や自然の中で身体を動かしてあそび
野外あそびを通して子どもたちが主体的にあそびを発想し創造する力を
培います

食育体験や交流活動

地域の方や専門家の方のおやつ作りによる食育体験や多世代交流・グ
ローバル体験交流で人間関係づくりやコミュニケーション能力を養います

湯田地域交流センター



湯田地域 子どもの居場所作り(子どもたちの楽しい遊びを支える)
あそびの創造(五感を使って四季の自然やあそびを楽しもう!!)

子どもは遊びの天才だといわれていますが現代社会では子どもたちが安心して遊べる環境がなくなっており、子どもたちが主体的に遊ぶ力=あそび力(あそびりよく)が低下現象にあります。
特に幼少期の「あそび」は人が人となるための人格形成や人間形成、大人になっても生涯必要とされる生きる力や大人になるためのさまざまなステップを乗り越えていくための土台となる自己肯定感(自分を信じる力・自分を大切に思う気持ち・自分を好きだと感じる心)の基となる自分自身でいいんだと思える自信を育みます。
そこで、子どもたちが安心して遊ぶことができる楽しい居場所を地域の中に仕組みとして築き、地域の子供たちが安心して遊ぶために私たち地域にかかわる大人が子どもたちのお手伝いをしてあげたいと思います。
湯田地域の子どもたちの育ちを私たち地域の大人みんなで見守り育てていきたいと思いますか?

概要：
子どもたちが主体的にあそびを発想する力を培っていきけるように、私たち大人は彼らのあそびを創造する力のサポート役(手助け・助っ人)であること。
指導的・抑圧的ではなく子どもの遊びの世界の住人であること。
子どもたちの力を信じ、子どもたちが喜んで話し合いながら子どもたち自身で自分たちの楽しい居場所(あうち)を創り上げていくことを大人が提案や対話をもってお手伝いをしていくイメージ。



上板町子ども・若者相談支援センター 「あい」

1. 「あい」の概要

「あい」では、みなさんの応援をさせていただきます。

対象者：子ども・若者（幼・小・中学生・中学卒業後～39歳ぐらい）

子育て・しつけ・教育などで悩みや困り事（学力不良，進路不安，不登校，ニート，引きこもり，いじめ，非行，虐待など）**がある方**，または**その家族・教員からのご相談**を受け付けています。

●上板町の教育目標：「人間になろう 人間を磨こう 人間を輝かせよう」

●こんな人間に：「広い心で 明るく 仲よく たくましい

我慢（努力）と反省，そして感謝のできる人」



- ・設置場所：上板町ITセンター2階，上板町教育委員会
- ・開設日時：月曜日～金曜日（午前9:00～午後5:00）
時間外・休日等は予約で対応

2. 主な活動

- ①電話及び来所相談（支援機関の紹介，情報提供，助言，関係機関の連絡・調整）
- ②訪問支援
- ③保護者へ学びの場の提供

特別支援教育，いじめ，虐待等をテーマに子ども・若者支援について子育て講演会の開催。年間5回程度。家庭教育支援を行う人材の養成も兼ねる。



④個別ケース検討会議による関係機関の連携



⑤子育て相談会「しゃべり・あい」開催

子育てに悩みを抱える親の相談会。毎月第4土曜日 19:00～21:00 開催

3. 体制

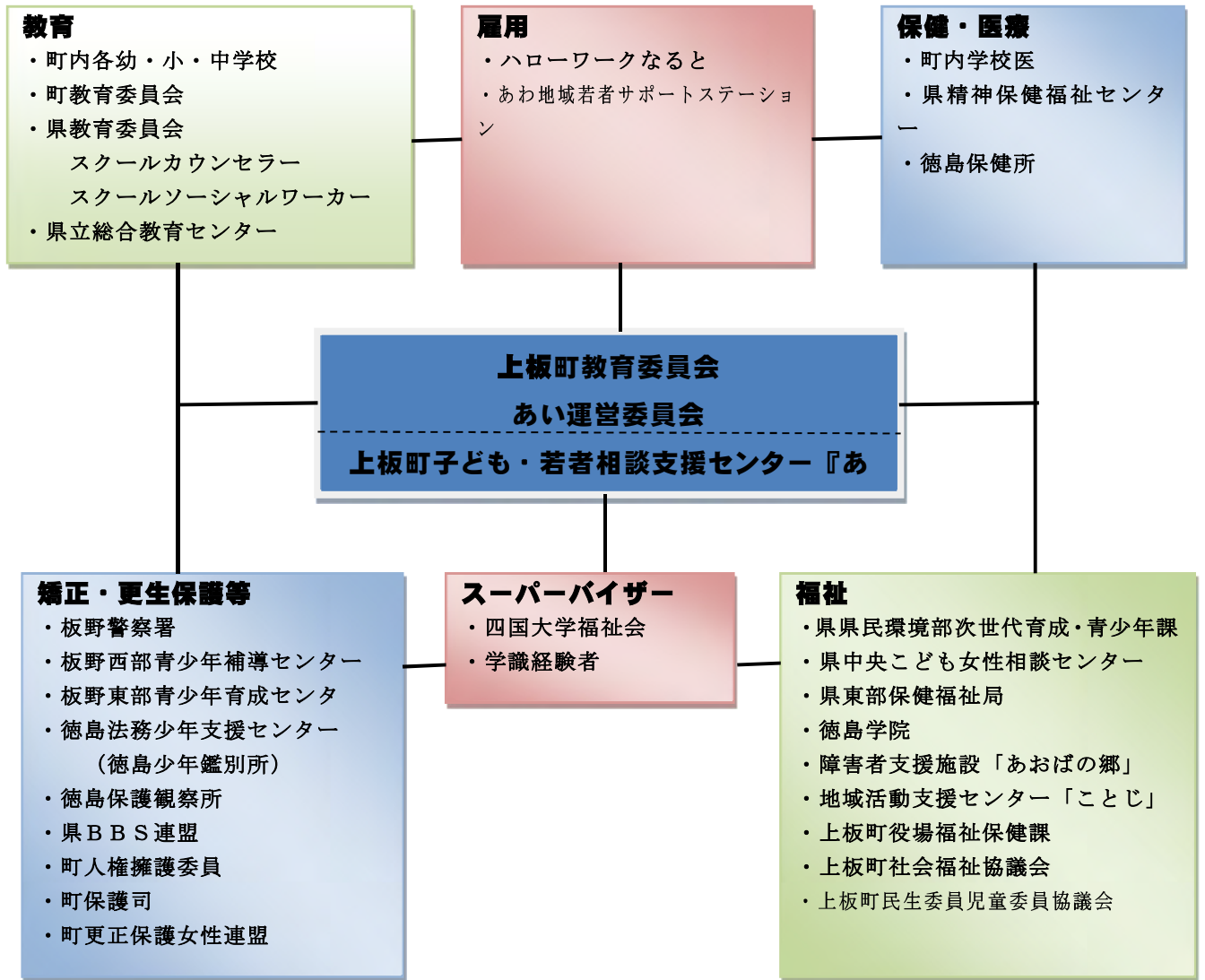


(1) 『あい』には、ソーシャルワーカーが在籍しています。

子どもの抱えるさまざまな問題について、置かれている環境やその子の特徴を考えながら、学校と連携のもと、直接、家庭とつながり、校外の関係機関と連携して、問題を解決していく活動を行います。本人・家庭・学校・関係機関をつなぐコーディネーター役です。

(2) 関係機関

教育・保健・医療・福祉・雇用・矯正・更生保護など幅広いネットワーク（現在40機関以上）を構築し、継続的・総合的に相談・支援を行っています。



4. 公表可能な連絡先

〒771-1301
徳島県板野郡上板町鍛冶屋原字妙楽寺1番地8

上板町子ども・若者相談支援センター『あい』

TEL:088-637-6006

大洲子育てサポート“そよ風”

(事務所：愛媛県大洲市若宮 3 3 2 ☎ 0893-24-4580 ✉ soyokaze-katei20@city.ozu.ehime.jp)

チームのメンバー



- ◆ 全員(家庭教育支援員)が地域住民、子育て経験者、子育てに関わる専門家
- ◆ 多様な立場から相談対応でき、それぞれの属性を生かして、関係機関と連携しやすいのが強み

- 元教員
 - 元保育士
 - 臨床発達心理士
 - 人権擁護委員
 - 保護司
 - 民生委員・児童委員
 - 公民館長
 - 小・中学校心の相談員
 - 高校スクールライフアドバイザー
 - 警察少年サポーター
 - 大洲市家庭教育相談員
(市子育て支援課)
- 計 10名

活動方針

身近な支援者として保護者に寄り添う

○アウトリーチ型の支援を行う

○支援機関とのパイプ役となる

○心理・教育・発達の支援を行う

合言葉は・・・
フットワーク
ネットワーク
チームワーク

活動内容

～ 届ける支援 ～

相談対応

電話相談
来所相談
訪問相談



そよ風通信

子育てアドバイス
地域の子育て情報

子育て講座

予防教育的な出前講座

相談対応

～ 電話相談・来所相談・訪問相談 ～

- ◇ 直通電話を設置
- ◇ 受容共感的な態度で対応
- ◇ 相談者が相談しやすいように希望する場所や時間帯を設定
(不登校生・引きこもり・乳児のいる家庭など)
- ◇ チーム員の協議により、必要な場合は他の支援機関と連携
- ◇ 保護者・学校等の要請により、第三者として相談対応



そよ風通信

～ 予防教育として子育て情報を子育て中の全家庭に発信 ～

- ◇ A4両面、毎月1回、5,200部発行
- ◇ 配布先
市内の保・幼・小・中全家庭、児童館、子育て支援センター、公民館
民生委員・児童委員、保健センター、警察署、市議会、市子育て支援課等
- ◇ 掲載内容
子育てコラム・子育て情報・子育てことわざ・朝ごはんレシピ・子育てQ&A

家族みんなで
読んでいます。

育児で困ったとき
参考にしています。

通信を読んで相談
に来ました。

子育て講座

～ 楽しく学習し、保護者同士をつなぐ場に ～

- ◇ 2か所の児童館で毎月1回子育て広場
- ◇ 保育所参観日、小学校の就学時健診で子育て講座
- ◇ 公民館、婦人会、教育事務所主催の子育て出前講座



子育て中の人が集
まれる場があるだ
けでうれしいです。

同じ悩みを持つ
人がいて、参考に
になりました。

●武雄市子育て総合支援センターとは？

武雄市子育て総合支援センターは、子育てについての悩み相談、子育て情報の収集・提供、子育てサークルの活動支援、交流広場の提供など子育てに関するあらゆる支援を行い、子育てしやすい環境づくりを目指しています。

- センタースタッフ 11名（※うち家庭教育支援チーム7名）
- だっこボランティア 20名 ・ 子育てサポーター 123名
- ファミリーサポーター協力会員 35名

武雄市子育て支援センター (〒849-2201 佐賀県武雄市北方町大字志久 1674-2)
 TEL : 0954 (36) 3700 FAX : 0954 (36) 3737

研修事業

- 子育て・親育ち講座
- 子育て支援者講座
- 子育てサポーター養成講座
- ファミリーサポーター養成講座
- だっこボランティア養成講座
- 放課後児童クラブ支援員研修

連携事業

- たけお子どもフェスタ
- おひさまフェスタ
- ファミリーサポート事業
- 三世代交流・出前講座
- 支援者交流会
- 保育園・幼稚園・認定こども園研修

学ぶ

育む

組む

寄り添う

見える化

ひとの子ども
わが子と同じ
愛のシャワーを

子育て情報提供

- 子育て応援マップ
- 子育て応援ページ
「おひさまブログ」
- おひさま通信「くすくす」
- 子どものための情報たまてばこ「ゆうぼっば」

交流事業

- おひさまひろば
- 赤ちゃんひろば
- 地域ひろば
- 育ちあい講座
- 絵本タイム
- 親子でリフレッシュタイム
- 赤ちゃん登校日

●武雄市の家庭教育支援の取り組みについて

『武雄市子育て総合支援センター』の活動の一環で、市民ボランティアの子育てサークルや関係団体と連携しながら平成19年度のセンターの設立当初から様々な家庭教育支援事業の推進に継続して取り組んでいます。

武雄市では武雄市教育大綱『組む』をテーマとし、地域・学校・家庭が連携して特色ある家庭教育支援に取り組んでいます。

赤ちゃん登校日

- 事業内容● 中学校の中に月1回、乳幼児の親子と中学生のふれあいの場を提供し、遊びを通して異年齢の学ぶ場を提供する。



- 事業の効果● 中学生がわが子を温かく見守る母親と話し、赤ちゃんの抱っこのかたや遊ばせ方をきくことで、自分も大切に育てられたことに気付いてきた。母親達も中学生とふれあうことで、自分の子育ての振り返りや子育てで大切なものに気付くようになってきている。

育ちあい講座

- 事業内容● 中学3年生・高校1年生の家庭科の授業の中で市内園児とのつながる命の尊さや親の気持ち、親の対応の仕方学ぶ。



- 事業の効果● 中高生は小さな子とのふれあいや、かわいさを実感し、園ではしっかり者の年長児がかっこいい中学生にあこがれる気持ちもてるようになった。また親への感謝の気持ちもてるようになっている。

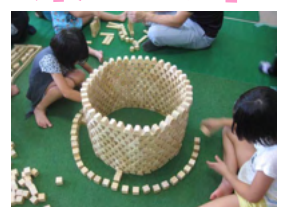
子どもフェスタ



三世代交流



楽つみ木



この他にも
様々な取組み
を行っています

いちき串木野市家庭教育支援チーム

家庭と地域・学校をつなぐ

ほっとルーム



いちき串木野市家庭教育支援チーム「ほっとルーム」は、子育てや家庭教育について保護者の皆さんからの悩み相談に応じています。地域や学校、専門機関へ橋渡しをするなど、子育てや家庭教育を市民総ぐるみで支えていくことを進める「近所のおばちゃん」的存在です。

「ほっとルーム」には5人のスタッフがいます！

<主な活動内容>

- ◇ 小学1・2年生の**長子家庭訪問**（市内全小学校で実施）
～留守の時も、メッセージカードを届けています～
- ◇ **出前サロン「おあしす」**の開設
学級PTA時にお茶を飲みながら、子育ての悩みを聞いたり、情報交換を行ったりします。
- ◇ 来室・電話**相談**活動（ほっとルームにて 社会教育課内）
- ◇ 家庭教育情報紙「**ほっとルームだより**」の配布（月1回）
- ◇ 家庭教育に関する**アンケート**の実施・分析（年1回）
- ◇ 市家庭教育支援連絡協議会の開催（年2回）
- ◇ **地域の子育て支援**（母親セミナー・子育てサークルとの連携）
- ◇ **福祉課・学校教育課・企業等**との連携活動
 - ・「ほっとルーム」だよりの配布 ・「ほっとルーム」だよりの原稿依頼
 - ・企業代表を連絡協議会委員に委嘱
 - ・学校との情報交換 ・福祉課（児童委員）や学校教育課（SSW）との連絡会の開催



家庭教育支援連絡協議会



出前サロン「おあしす」



家庭教育学級での支援



地域の子育て支援(母親学級・母親セミナーとの連携)



読書グループ活動の取材



家庭と学校と地域の橋渡し

心の扉をノックする相談・支援活動です！



長子家庭訪問

2年生でも元気に学校に行っています。友だちもできてとても楽しそうな様子なので、安心していきます。(保護者)



気になっていることなどありませんか？
(家庭教育支援員)

元気に登校できて何よりですね。何か気になることがあったらいつでも相談してください。(家庭教育支援員)

<支援活動を通して>

- 訪問を重ねるうちに、保護者の皆さんの笑顔が多くなり、こちらもうれしくなります。
- 自ら相談しづらい方々もいるので、こちらから訪問して心の扉をノックし、思いを聞けたらと思います。
- これからも、いろいろな方々や関係機関と連携しながら、訪問活動の充実に努めたいです。

出前サロンおあしす



初めて参加して、みんなのために相談の場があるのは良い事だと思いました。(保護者)

年1回でいいので、中学校でも開設していただきたい。(保護者)

保育園での開設もでき、多くの保護者が立ち寄ってくださいました。これからも誰でも入りやすい雰囲気づくりに努めていきたいです。(家庭教育支援員)

子育て情報紙「ほっとルームだより」



- その名のとおり「ほっ」とします。
- 子育てをしている中で、振り返る良い機会になります。
- 子育てアドバイスも知っているつもりですが、改めて文字で啓発して下さって、その都度気をつけるようにしています。

<これまでの活動から>

- ◇ 保護者が気軽に相談できる機会が増え、少しずつ子育て支援の輪が広がっています。
- ◇ 学校・家庭・地域・企業などの連携が進み、地域ぐるみによる子育て支援の大切さについて、たくさんの方々が関心を深めています。

来室・電話相談活動

《連絡・相談先》 「ほっとルーム」

: いちき串木野市教育委員会社会教育課内
: TEL 0996-21-5130
: FAX 0996-36-5044